

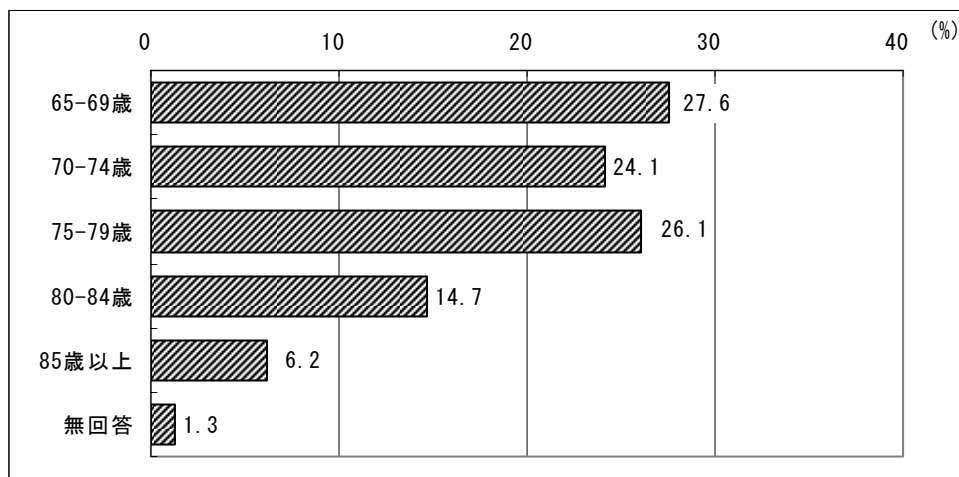
IV 一般高齢者

1. 対象者の属性

(1) 年齢

年齢は、「65～69歳」が27.6%、「75～79歳」が26.1%、「70～74歳」が24.1%となっています。

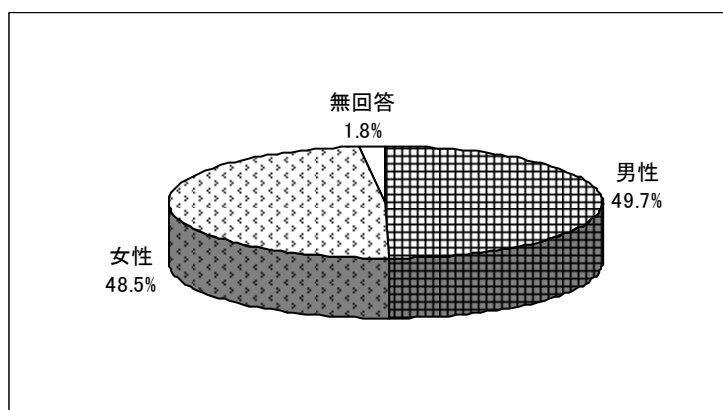
図表 116 年齢 [N=3, 259]



(2) 性別

性別では、「男性」が49.7%、「女性」が48.5%となっています。

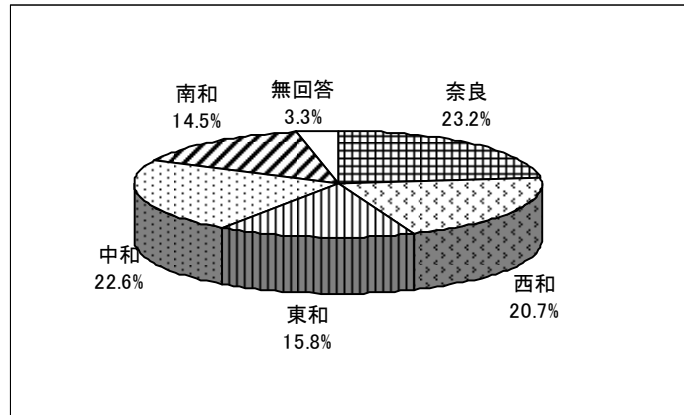
図表 117 性別 [N=3, 259]



(3) 圏域

圏域では、「奈良」(23.2%)、「中和」(22.6%)の割合が高くなっています。

図表 118 圏域 [N=3, 259]

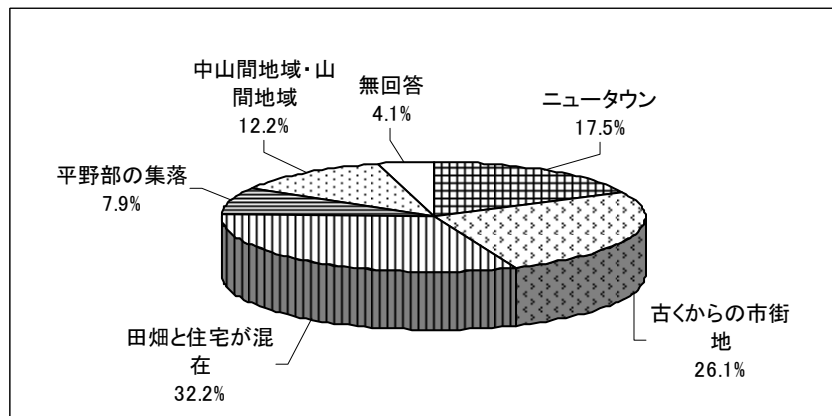


(4) 居住地域の特徴

居住地域の特徴についてきいたところ、「田畑と住宅が混在」の割合が32.2%と最も高く、次いで、「古くからの市街地」が26.1%となっています。

圏域別にみると、奈良圏域では「古くからの市街地」の割合が、西和圏域では「ニュータウン」と「田畑と住宅が混在」が、東和圏域では「古くからの市街地」と「田畑と住宅が混在」が、中和圏域では「田畑と住宅が混在」が、南和圏域では「中山間地域・山間地域」の割合が高くなっています。

図表 119 居住地域の特徴 [N=3, 259]



図表 120 <圏域別>居住地の特徴[N=3, 259]

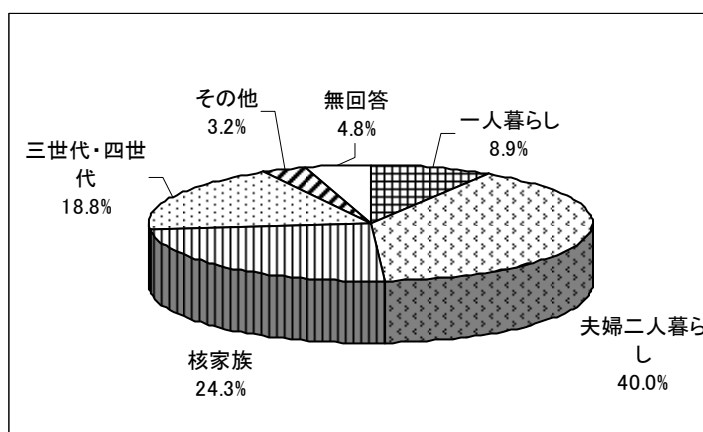
	合計	ニュータウン	街地 古くからの市	混在 田畑と住宅が	平野部の集落	山間地域・ 中山間地域	無回答
合計	3,259	570	852	1,051	256	396	134
	100.0	17.5	26.1	32.2	7.9	12.2	4.1
奈良	756	209	274	193	40	11	29
	100.0	27.6	36.2	25.5	5.3	1.5	3.8
西和	675	207	117	228	74	26	23
	100.0	30.7	17.3	33.8	11.0	3.9	3.4
東和	515	52	165	159	47	69	23
	100.0	10.1	32.0	30.9	9.1	13.4	4.5
中和	735	73	198	321	78	38	27
	100.0	9.9	26.9	43.7	10.6	5.2	3.7
南和	471	23	75	117	4	232	20
	100.0	4.9	15.9	24.8	0.8	49.3	4.2
無回答	107	6	23	33	13	20	12
	100.0	5.6	21.5	30.8	12.1	18.7	11.2

(5) 家族構成

家族構成については、「一人暮らし」が 8.9%、「夫婦二人暮らし」が 40.0%で、概ね高齢者のみの世帯が半数近くになっています。また、「核家族」が 24.3%、「三世代、四世代」が 18.8%となっています。

年代・性別にみると、男性は「夫婦二人暮らし」が半数前後を占めているのに対し、女性はやばらつきがみられ、75 歳以上では「三世代・四世代」の割合が最も高くなっています。また、「一人暮らし」の割合も他に比べて高くなっています。

図表 121 家族構成[N=3, 259]



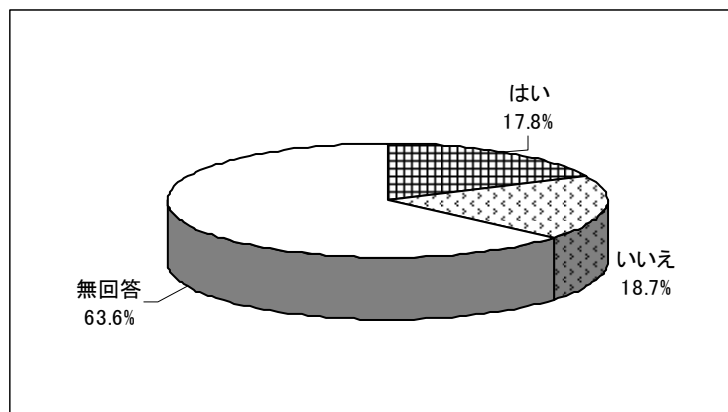
図表 122 <年代・性別>家族構成 [N=3, 259]

	合計	一人暮らし	夫婦二人暮らし	核家族	三世代・四世代	その他	無回答
合計	3,259	289	1,305	791	612	105	157
	100.0	8.9	40.0	24.3	18.8	3.2	4.8
65～74 歳男	794	35	403	234	91	15	16
	100.0	4.4	50.8	29.5	11.5	1.9	2.0
65～74 歳女	861	100	328	210	134	36	53
	100.0	11.6	38.1	24.4	15.6	4.2	6.2
75 歳以上男	810	41	375	167	169	19	39
	100.0	5.1	46.3	20.6	20.9	2.3	4.8
75 歳以上女	702	107	161	162	207	27	38
	100.0	15.2	22.9	23.1	29.5	3.8	5.4
無回答	92	6	38	18	11	8	11
	100.0	6.5	41.3	19.6	12.0	8.7	12.0

(6) 日中独居について

日中ひとりになることがあるかきいたところ、「いいえ」が 18.7%、「はい」が 17.8%となっています。

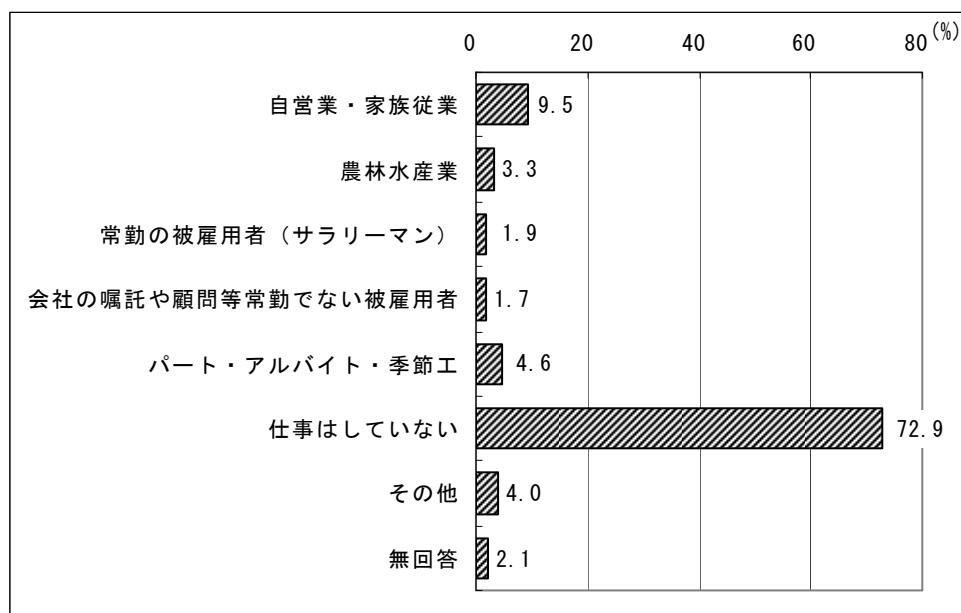
図表 123 日中独居 [N=2, 813]



(7) 現在の就業状況

現在の就業状況についてきいたところ、大半が「仕事はしていない」(72.9%)となっています。

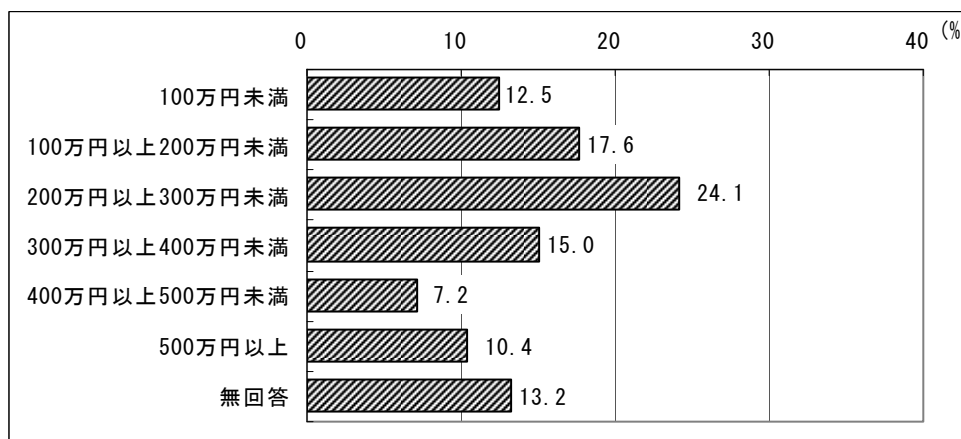
図表 124 現在の就業状況 [N=3, 259]



(8) 世帯の収入状況

世帯の収入状況についてきいたところ、「200 万円以上 300 万円未満」の割合が 24.1%と最も高く、次いで、「100 万円以上 200 万円未満」が 17.6%となっています。

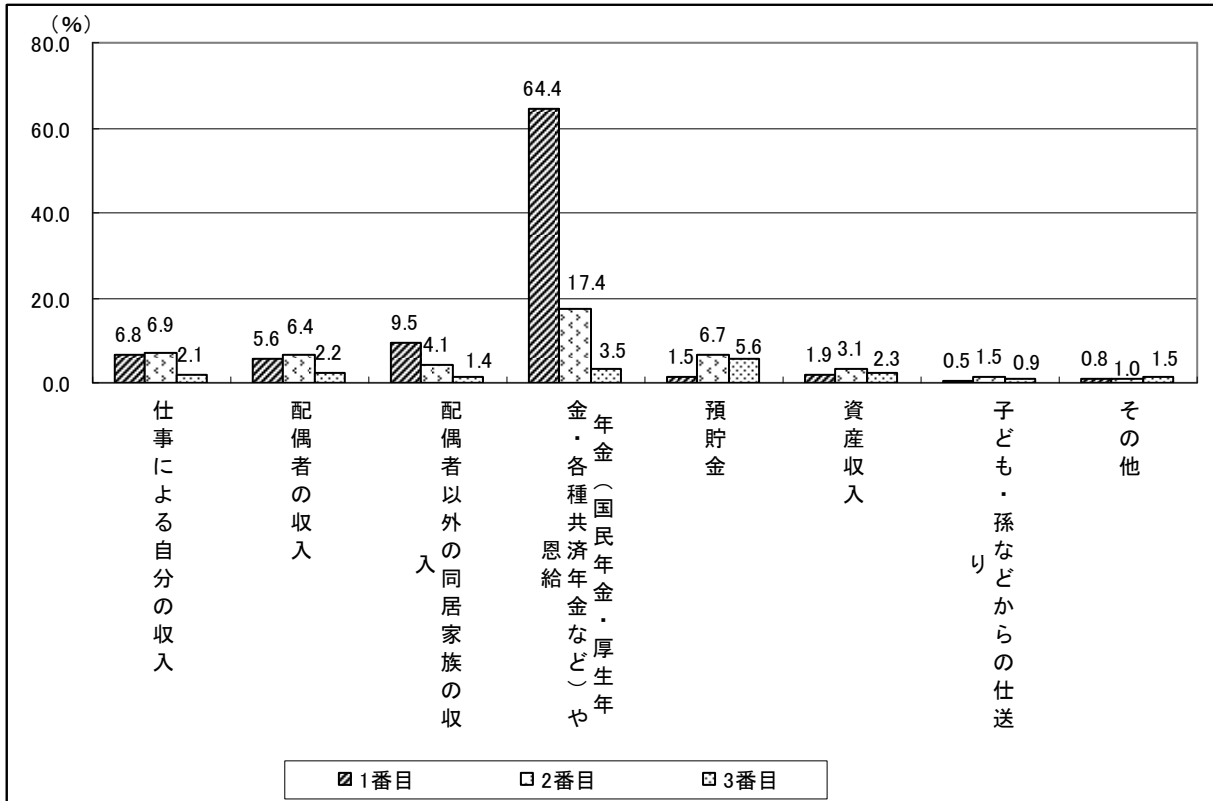
図表 125 世帯の収入状況 [N=3, 259]



(9) 世帯の収入源

世帯の収入源についてきいたところ、「年金（国民年金・厚生年金・各種共済年金など）や恩給」の割合が64.4%と最も高くなっています。

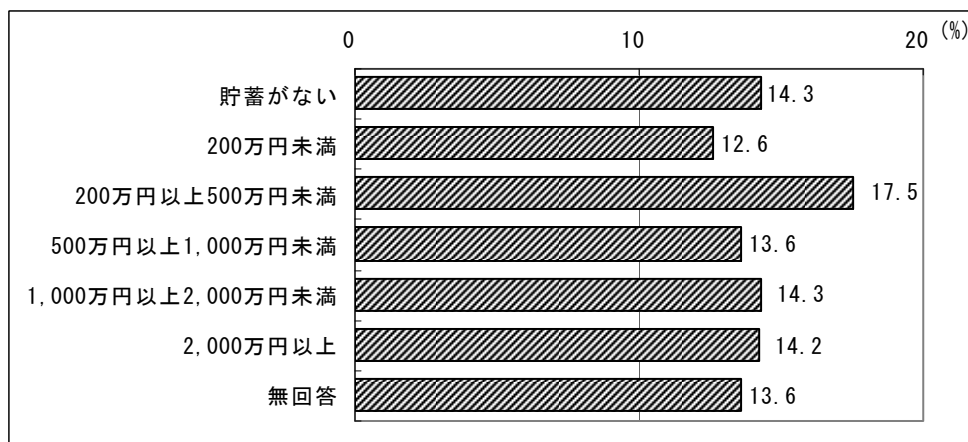
図表 126 世帯の収入源 [N=3, 259]



(10) 世帯の貯蓄額

世帯の貯蓄額についてきいたところ、「200万円以上500万円未満」の割合が17.5%と最も高く、次いで、「1,000万円以上2,000万円未満」、「貯蓄がない」がそれぞれ14.3%となっています。

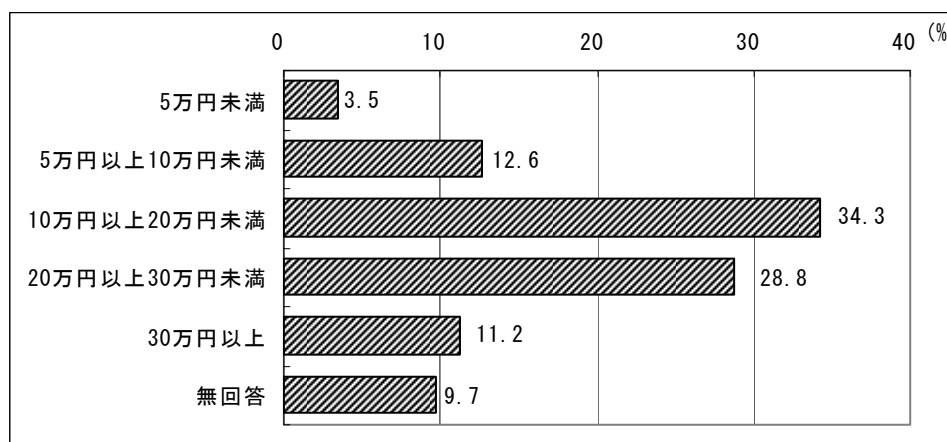
図表 127 世帯の貯蓄額 [N=3, 259]



(11) 世帯の1か月の生活費

世帯の1か月の生活費についてきいたところ、「10万円以上20万円未満」の割合が34.3%と最も高く、次いで、「20万円以上30万円未満」が28.8%となっています。

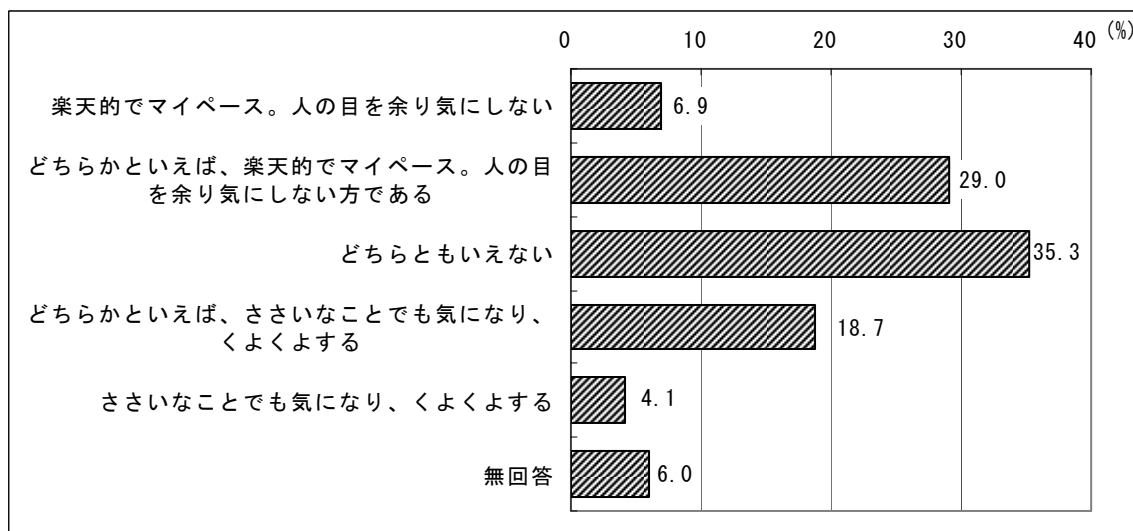
図表 128 世帯の1か月の生活費 [N=3, 259]



(12) 自分の性格

自分の性格についてきいたところ、「楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない」が6.9%、「どちらかといえば、楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない方である」が29.0%といった、比較的楽天的でマイペースな人が約36%、「どちらともいえない」が35.3%、「どちらかといえば、ささいなことでも気になり、くよくよする」が18.7%、「ささいなことでも気になり、くよくよする」が4.1%といった、比較的くよくよする人が約23%となっています。

図表 129 自分の性格 [N=3, 259]



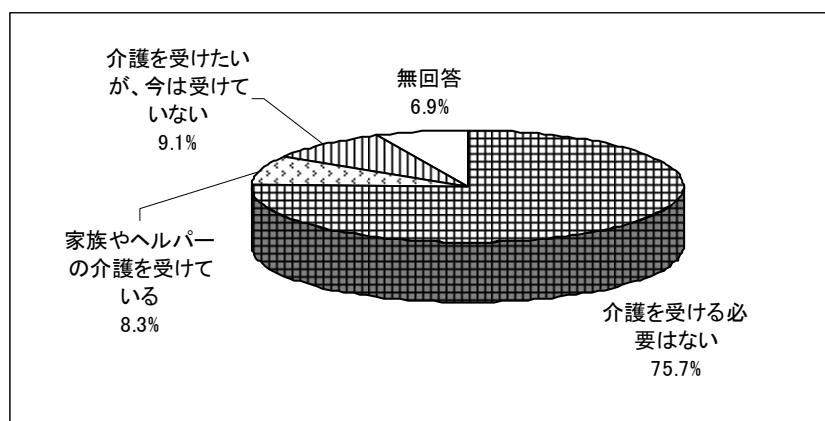
2. 心身の状況

(1) 現在の介護の必要性の有無

現在、介護が必要かどうかきいたところ、大半が「介護を受ける必要はない」（75.7%）となっています。その他では、「介護を受けたいが、今は受けていない」が9.1%、「家族やヘルパーの介護を受けている」が8.3%となっています。

年代・性別にみると、65～74歳男女は「介護を受ける必要はない」人の割合が約86～88%であるのに対し、75歳以上男性は69%、75歳以上女性は約59%となり、介護を必要とする人の割合が高くなっています。

図表 130 現在の介護の必要性の有無 [N=3, 259]



図表 131 <年代・性別>現在の介護の必要性の有無 [N=3, 259]

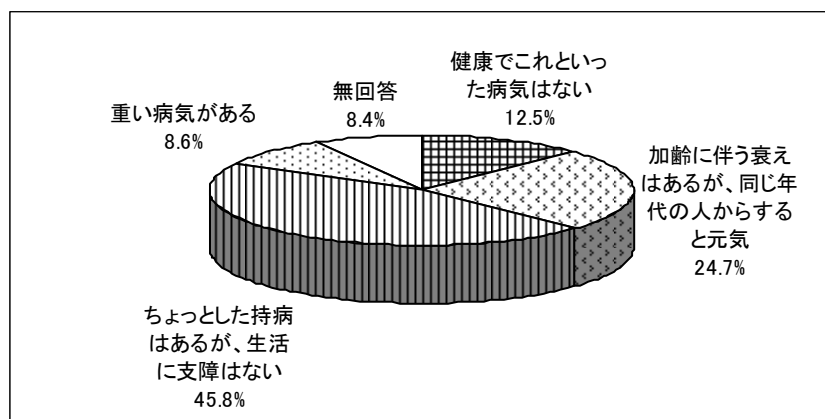
	合計	介護を受ける必要はない	家族やヘルパーの介護を受けている	介護を受けたいが、今は受けていない	無回答
合計	3,259	2,466	270	298	225
	100.0	75.7	8.3	9.1	6.9
65～74歳男	794	700	18	35	41
	100.0	88.2	2.3	4.4	5.2
65～74歳女	861	737	26	50	48
	100.0	85.6	3.0	5.8	5.6
75歳以上男	810	559	88	100	63
	100.0	69.0	10.9	12.3	7.8
75歳以上女	702	411	134	98	59
	100.0	58.5	19.1	14.0	8.4
無回答	92	59	4	15	14
	100.0	64.1	4.3	16.3	15.2

(2) 現在の健康状態

現在の健康状態についてきいたところ、83%が健康であるまたは病気があるものの生活に支障ないとしています。なかでも、「ちょっとした持病はあるが、生活に支障はない」の割合が45.8%となっています。一方、「重い病気がある」は8.6%となっています。

その他、健康を維持するためにしていることや、心がけていること別にみると、「運動・体操をしている」、「健康に関する教室などに参加している」ことに心がけている人は比較的健康とする割合が半数前後を占めています。一方、「特にない」とする人は「重い病気がある」人の割合が20%と他に比べて高くなっています。

図表 132 現在の健康状態 [N=3, 259]



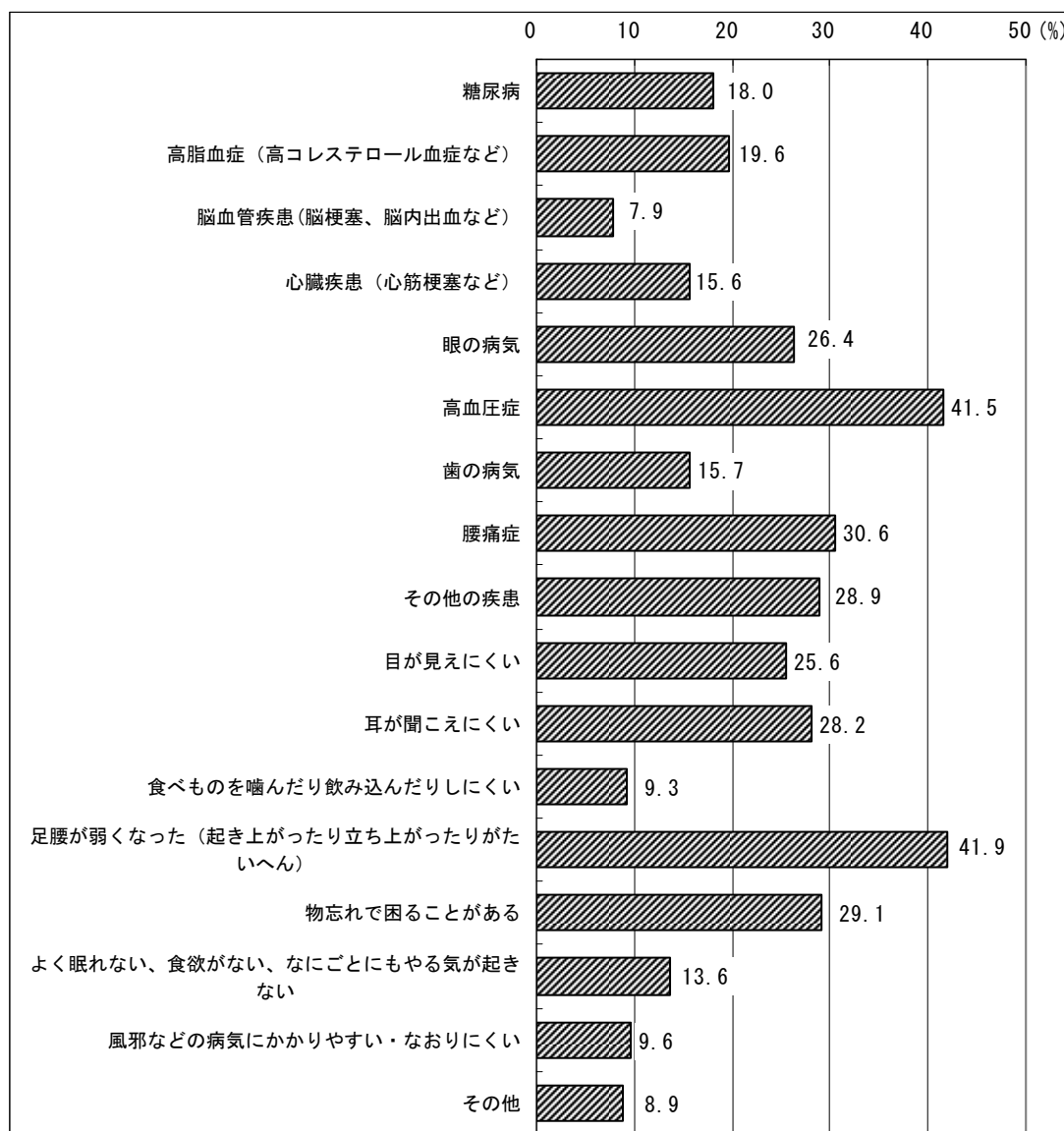
図表 133 <健康を維持するためにしていることや、心がけていること別>現在の健康状態 [N=3,259 ; 複数回答]

	合計	健康でこれといった病気はない	加齢に伴う衰えはあるが、同じ年代の人からすると元気	ちよつとした持病はあるが、生活に支障はない	重い病気がある	無回答
合計	3,259	408	804	1,494	280	273
	100.0	12.5	24.7	45.8	8.6	8.4
定期的に主治医の診察を受けている	2,075	132	395	1,164	218	166
	100.0	6.4	19.0	56.1	10.5	8.0
定期的に健康診断を受けている	1,045	126	279	500	65	75
	100.0	12.1	26.7	47.8	6.2	7.2
運動・体操をしている	649	119	196	260	26	48
	100.0	18.3	30.2	40.1	4.0	7.4
ウォーキングをしている	778	124	208	364	33	49
	100.0	15.9	26.7	46.8	4.2	6.3
スポーツクラブなどを利用している	236	40	74	100	7	15
	100.0	16.9	31.4	42.4	3.0	6.4
生きがいや趣味をもっている	1,030	160	304	440	47	79
	100.0	15.5	29.5	42.7	4.6	7.7
旅行をする	574	103	166	245	20	40
	100.0	17.9	28.9	42.7	3.5	7.0
友だちと楽しく話す	1,015	165	307	427	41	75
	100.0	16.3	30.2	42.1	4.0	7.4
地域の行事に参加している	567	96	172	232	13	54
	100.0	16.9	30.3	40.9	2.3	9.5
健康に関する教室などに参加している	112	17	40	45	4	6
	100.0	15.2	35.7	40.2	3.6	5.4
食事の栄養バランスに気をつけている	1,517	206	408	687	112	104
	100.0	13.6	26.9	45.3	7.4	6.9
休息や睡眠をとるようにしている	1,299	168	367	568	92	104
	100.0	12.9	28.3	43.7	7.1	8.0
ストレスをためないようにしている	939	150	287	379	53	70
	100.0	16.0	30.6	40.4	5.6	7.5
食事のあとで歯をきれいにしている	1,080	153	284	505	62	76
	100.0	14.2	26.3	46.8	5.7	7.0
入浴を心がけている	1,347	155	384	618	87	103
	100.0	11.5	28.5	45.9	6.5	7.6
規則正しい生活を心がけている	1,427	202	387	651	86	101
	100.0	14.2	27.1	45.6	6.0	7.1
その他	88	10	21	31	18	8
	100.0	11.4	23.9	35.2	20.5	9.1
特にない	80	16	10	27	16	11
	100.0	20.0	12.5	33.8	20.0	13.8
無回答	80	6	20	22	12	20
	100.0	7.5	25.0	27.5	15.0	25.0

(3) 治療中の疾患や疾患以外で気になること

ちょっとした持病がある人や重い病気がある人に、治療中の疾患などについてきいたところ、治療中の疾患では「高血圧症」の割合が41.5%と最も高く、次いで、「腰痛症」が30.6%となっています。また、疾患以外で気になることでは、「足腰が弱くなった（起き上がったたり立ち上がったりがたいへん）」の割合が41.9%と最も高く、次いで、「物忘れで困ることがある」が29.1%となっています。

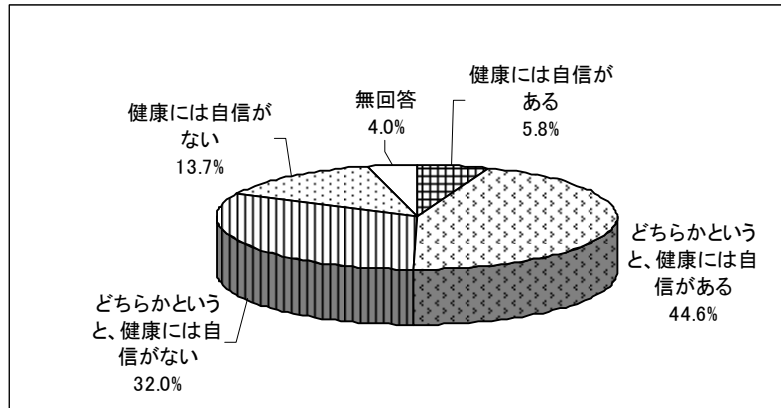
図表 134 治療中の疾患や疾患以外で気になること [N=1,774 ; 複数回答]



(4) 健康状態について感じていること

健康状態についてきいたところ、「健康には自信がある」が5.8%、「どちらかという、健康には自信がある」の割合が44.6%と、比較的健康的健康には自信がある人は約50%となっています。一方、「どちらかという、健康には自信がない」が32.0%、「健康には自信がない」が13.7%と、比較的自信がない人は約46%となっています。

図表 135 健康状態について感じていること [N=3, 259]

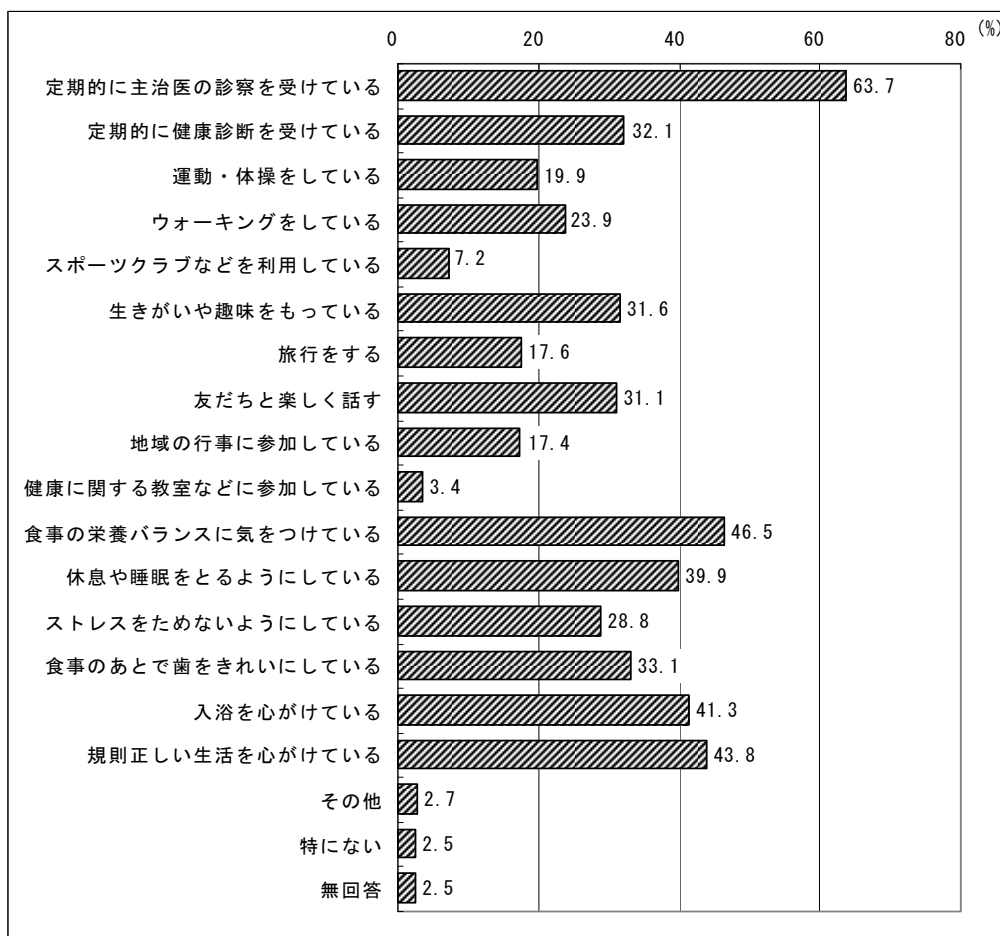


(5) 健康を維持するためにしていることや、心がけていること

健康を維持するためにしていることや、心がけていることについてきいたところ、「定期的に主治医の診察を受けている」の割合が63.7%と最も高く、次いで、「食事の栄養バランスに気をつけている」が46.5%となっています。

圏域別にみると、上位にあがっているものに大きな違いはみられないものの、奈良圏域では、他の圏域に比べてさまざまなことをあげる人の割合が高くなっています。また、南和圏域では「地域の行事に参加している」人の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表 136 健康を維持するためにしていることや、心がけていること [N=3, 259 ; 複数回答]



図表 137 <圏域別>健康を維持するためにしていることや、心がけていること [N=3,259 ; 複数回答]

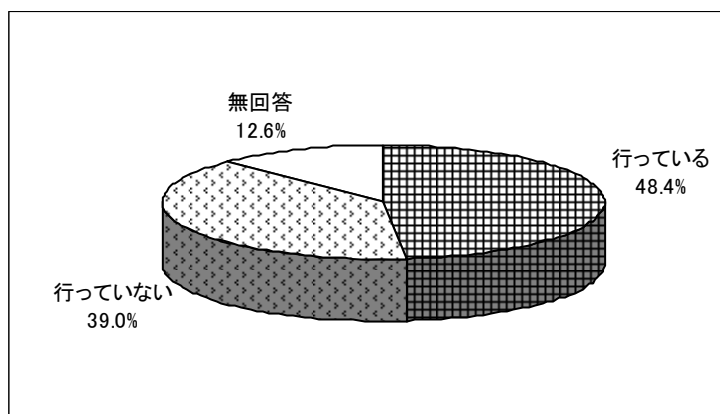
	合計	定期的に主治医の診察を受けている	定期的に健康診断を受けている	運動・体操をしている	ウォーキングをしている	スポーツクラブなどを利用している	生きがいや趣味をもっている	旅行をする	友だちと楽しく話す	地域の行事に参加している	健康に関する教室などに参加している	食事の栄養バランスに気をつけている	休息や睡眠をとるようにしている	ストレスをためないようにしている	食事のあとで歯をきれいにしている	入浴を心がけている	規則正しい生活を心がけている	その他	特になし	無回答
合計	3,259	2,075	1,045	649	778	236	1,030	574	1,015	567	112	1,517	1,299	939	1,080	1,347	1,427	88	80	80
	100.0	63.7	32.1	19.9	23.9	7.2	31.6	17.6	31.1	17.4	3.4	46.5	39.9	28.8	33.1	41.3	43.8	2.7	2.5	2.5
奈良	756	483	318	174	218	66	273	149	254	92	21	425	342	256	297	349	373	23	19	9
	100.0	63.9	42.1	23.0	28.8	8.7	36.1	19.7	33.6	12.2	2.8	56.2	45.2	33.9	39.3	46.2	49.3	3.0	2.5	1.2
西和	675	422	245	153	182	52	223	146	205	112	18	331	272	198	222	272	302	24	15	12
	100.0	62.5	36.3	22.7	27.0	7.7	33.0	21.6	30.4	16.6	2.7	49.0	40.3	29.3	32.9	40.3	44.7	3.6	2.2	1.8
東和	515	331	123	100	105	28	166	91	160	114	15	219	207	154	143	224	228	12	12	16
	100.0	64.3	23.9	19.4	20.4	5.4	32.2	17.7	31.1	22.1	2.9	42.5	40.2	29.9	27.8	43.5	44.3	2.3	2.3	3.1
中和	735	484	210	132	176	58	217	109	225	112	32	303	269	200	245	281	298	21	15	15
	100.0	65.9	28.6	18.0	23.9	7.9	29.5	14.8	30.6	15.2	4.4	41.2	36.6	27.2	33.3	38.2	40.5	2.9	2.0	2.0
南和	471	295	123	77	81	29	134	72	149	129	21	206	176	109	138	187	190	8	16	16
	100.0	62.6	26.1	16.3	17.2	6.2	28.5	15.3	31.6	27.4	4.5	43.7	37.4	23.1	29.3	39.7	40.3	1.7	3.4	3.4
無回答	107	60	26	13	16	3	17	7	22	8	5	33	33	22	35	34	36	0	3	12
	100.0	56.1	24.3	12.1	15.0	2.8	15.9	6.5	20.6	7.5	4.7	30.8	30.8	20.6	32.7	31.8	33.6	0.0	2.8	11.2

(6) 運動（意識的に体を動かすこと）を習慣的に行っているか

運動（意識的に体を動かすこと）を習慣的に行っているかについてきいたところ、「行っている」が48.4%、「行っていない」が39.0%となっています。

年代・性別にみると、65～74歳男女は「行っている」人が半数を超えています。一方、75歳以上女性は「行っていない」人が約45%と、「行っている」人の割合を上回っています。

図表 138 <年代・性別>運動（意識的に体を動かすこと）を習慣的に行っているか [N=3,259]



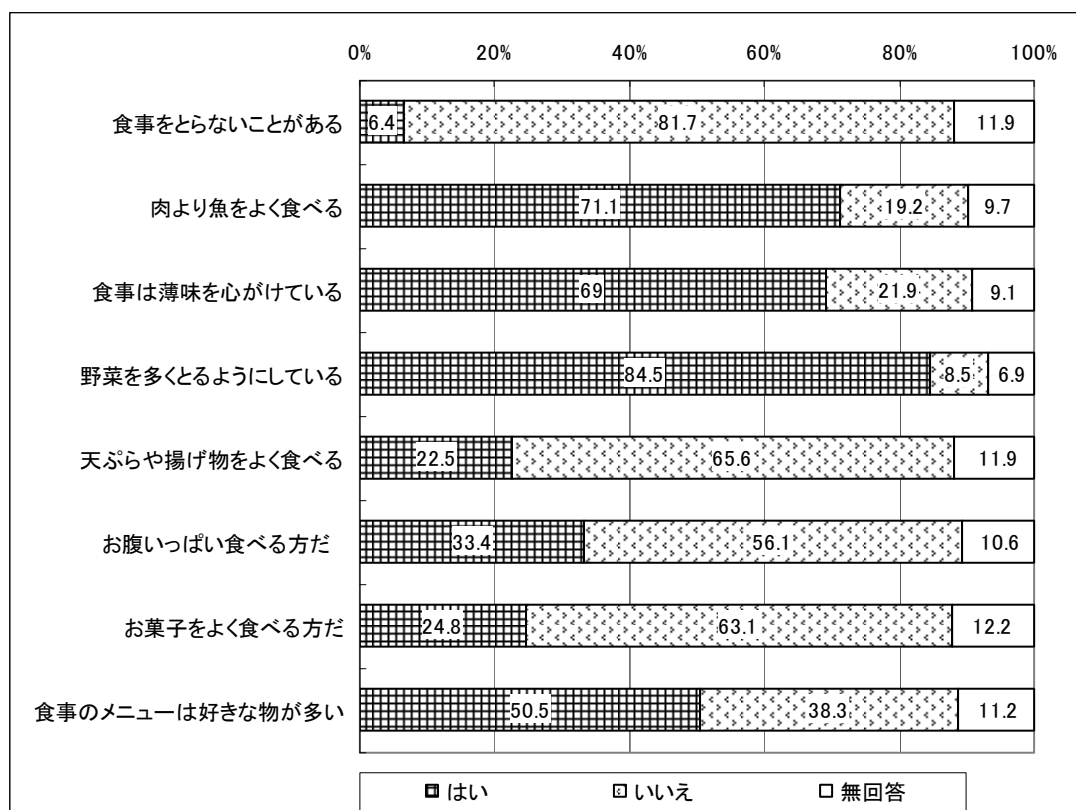
図表 139 <年代・性別>運動（意識的に体を動かすこと）を習慣的に行っているか[N=3, 259]

	合計	行っている	行っていない	無回答
合計	3,259	1,578	1,271	410
	100.0	48.4	39.0	12.6
65～74 歳男	794	467	277	50
	100.0	58.8	34.9	6.3
65～74 歳女	861	441	328	92
	100.0	51.2	38.1	10.7
75 歳以上男	810	373	321	116
	100.0	46.0	39.6	14.3
75 歳以上女	702	261	317	124
	100.0	37.2	45.2	17.7
無回答	92	36	28	28
	100.0	39.1	30.4	30.4

(7) 日ごろの食生活について

どの項目についても、半数以上の方は気をつけていますが、特に、野菜を多く取ることに
ついては、約 85%が実践しています。

図表 140 日ごろの食生活について [N=3, 259]

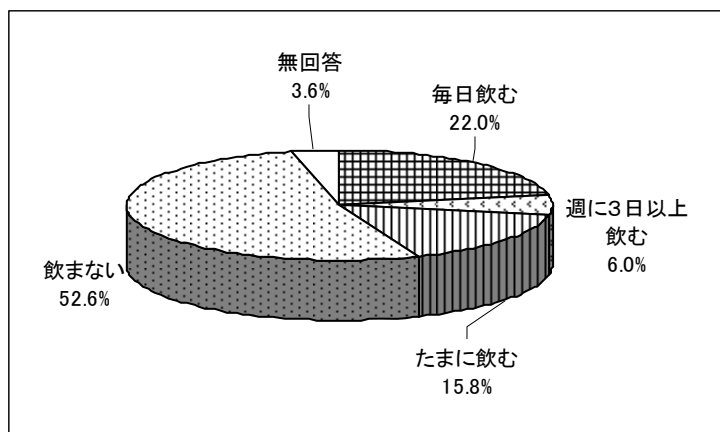


(8) 飲酒状況

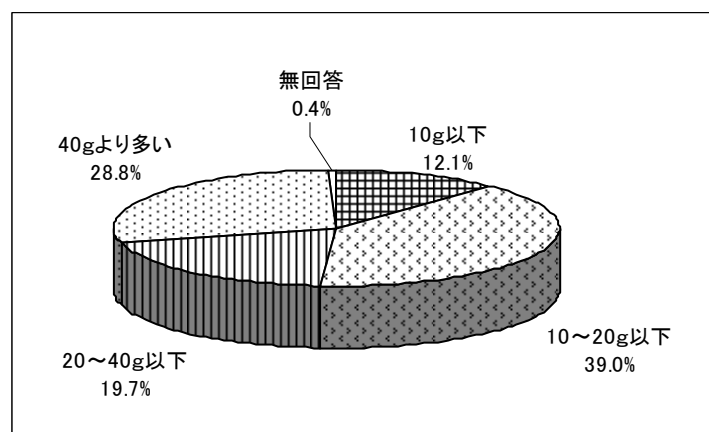
飲酒状況についてきいたところ、「飲む」が43.8%、「飲まない」が52.6%となっています。「飲む」人のなかでは、「毎日飲む」が22.0%となっています。

一日あたりのアルコール摂取量については、「10g～20g以下」の割合が39.0%と最も高く、次いで、「40gより多い」が28.8%となっています。

図表 141 飲酒状況 [N=3, 259]



図表 142 一日あたりのアルコール摂取量 [N=1, 427]

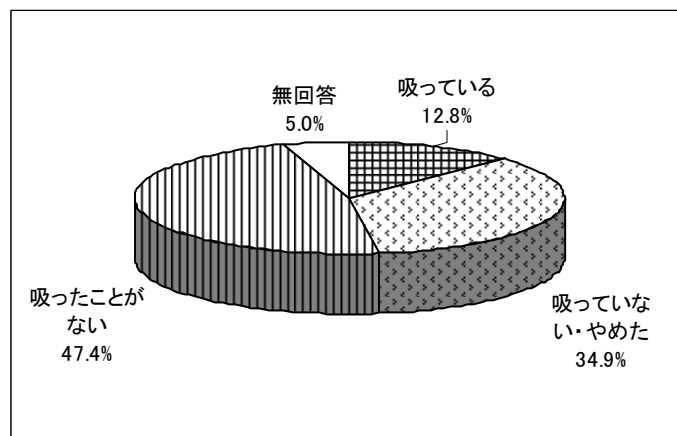


(9) 喫煙状況

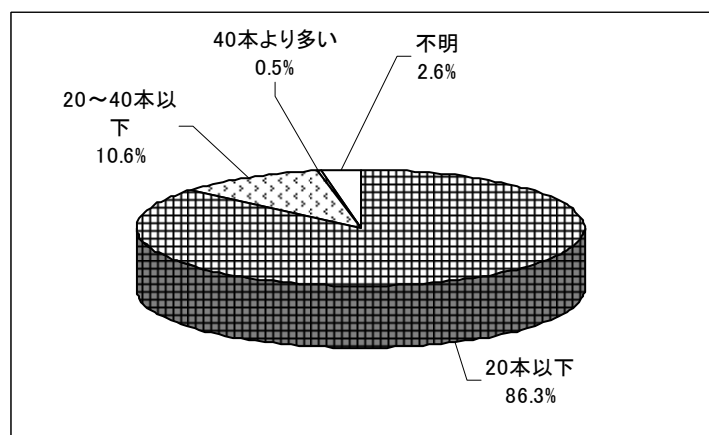
喫煙状況についてきいたところ、「吸ったことがない」の割合が47.4%と最も高く、次いで、「吸っていない・やめた」が34.9%、「吸っている」が12.8%となっています。

また、喫煙している人の喫煙本数については、大半が「20本以下」(86.3%)となっています。

図表 143 喫煙状況 [N=3, 259]



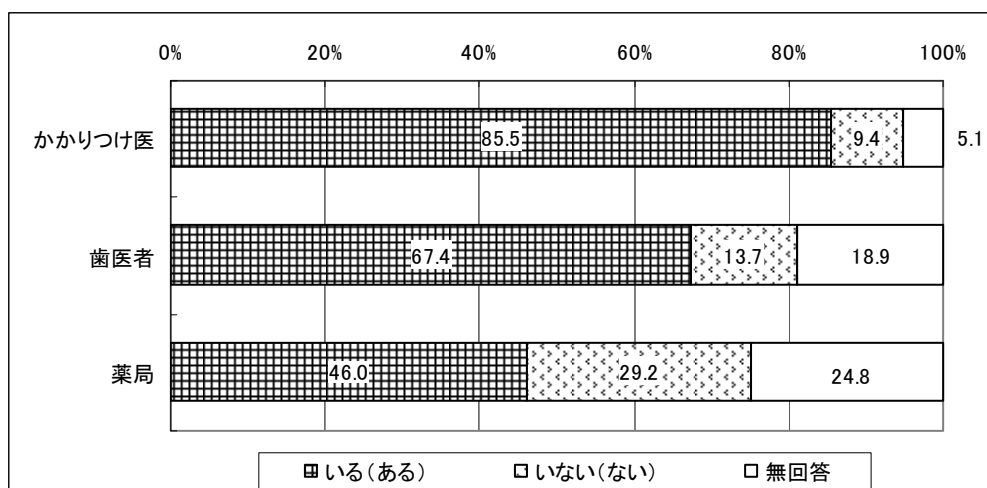
図表 144 喫煙本数 [N=416]



(10) かかりつけ医などの有無

かかりつけの医者は、「いる」が85.5%、「いない」が9.4%となっています。
 また、歯医者については、「いる」が67.4%、「いない」が13.7%となっています。
 薬局については、「ある」が46.0%、「ない」が29.2%となっています。

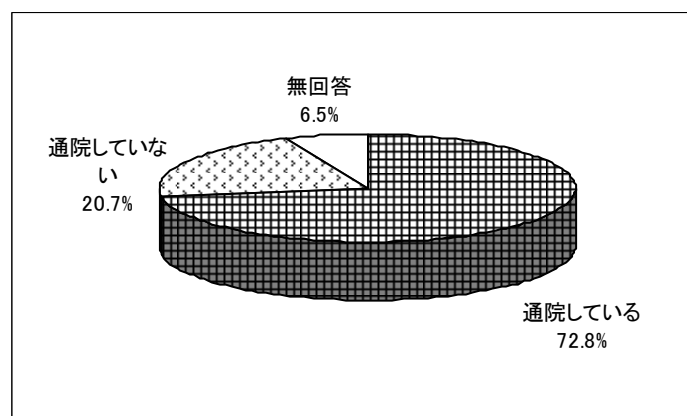
図表 145 かかりつけの医者・歯医者・薬局の有無 [N=3, 259]



(11) 現在の定期的な通院状況

現在の定期的な通院状況についてきいたところ、「通院している」が72.8%、「通院していない」が20.7%となっています。

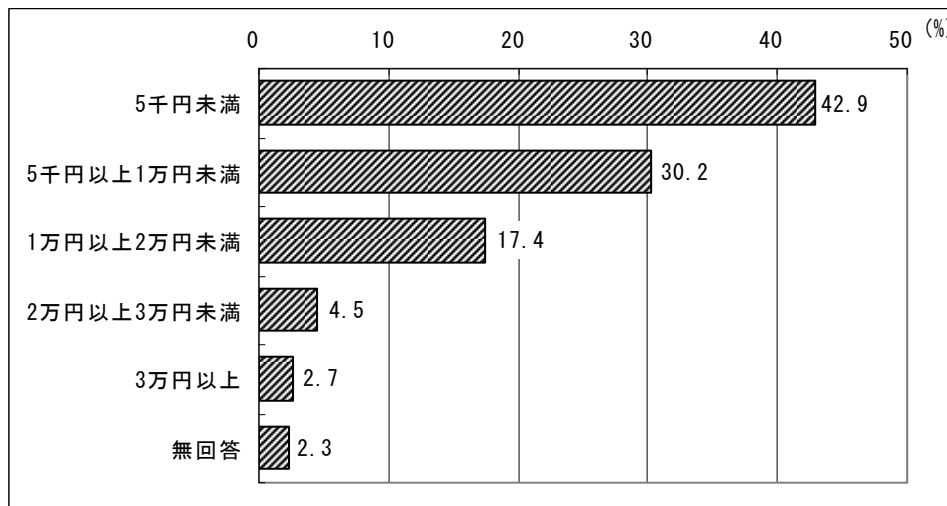
図表 146 現在の定期的な通院状況 [N=3, 259]



(12) 世帯の1か月の医療費

世帯の1か月の医療費についてきいたところ、「5千円未満」の割合が42.9%と最も高く、次いで、「5千円以上1万円未満」が30.2%となっています。

図表 147 世帯の1か月の医療費 [N=2,374]



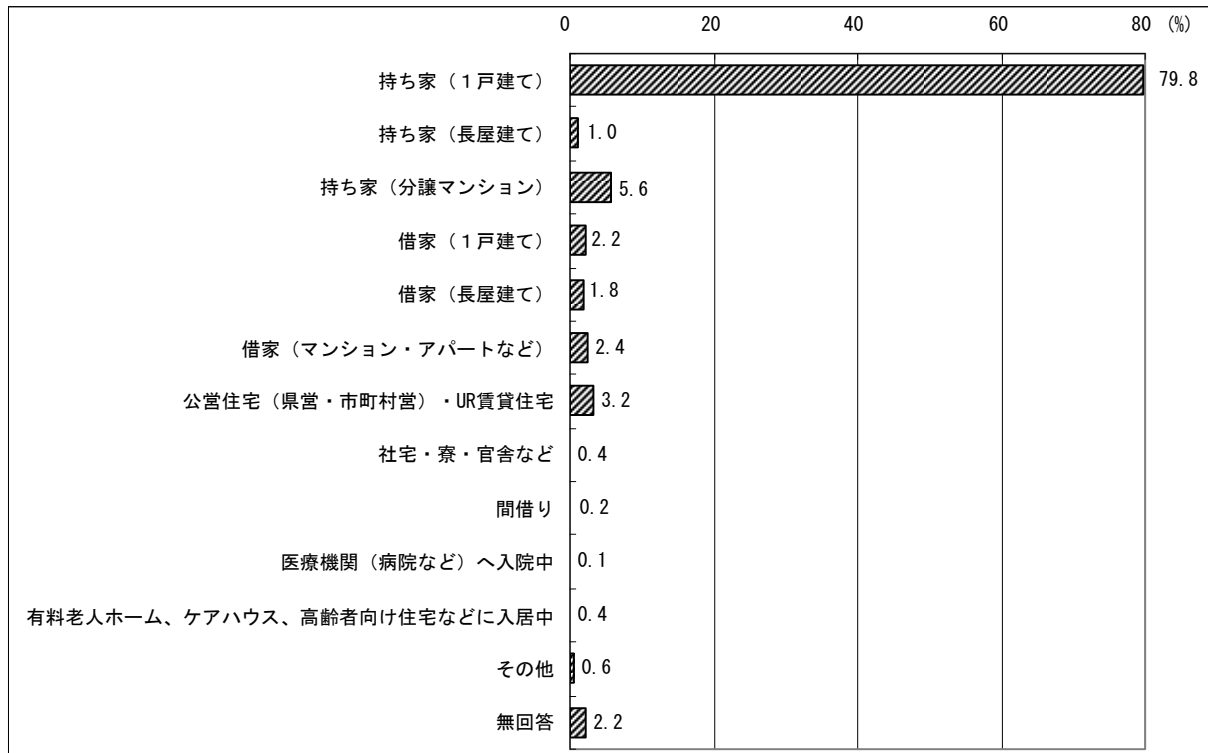
3. 日常生活について

(1) 居住形態

居住形態についてきいたところ、「持ち家（1戸建て）」の割合が79.8%と最も高く、次いで、「持ち家（分譲マンション）」が5.6%となっています。

圏域別にみると、大きな違いはみられないものの、奈良圏域では「持ち家（分譲マンション）」の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表 148 居住形態 [N=3, 259]



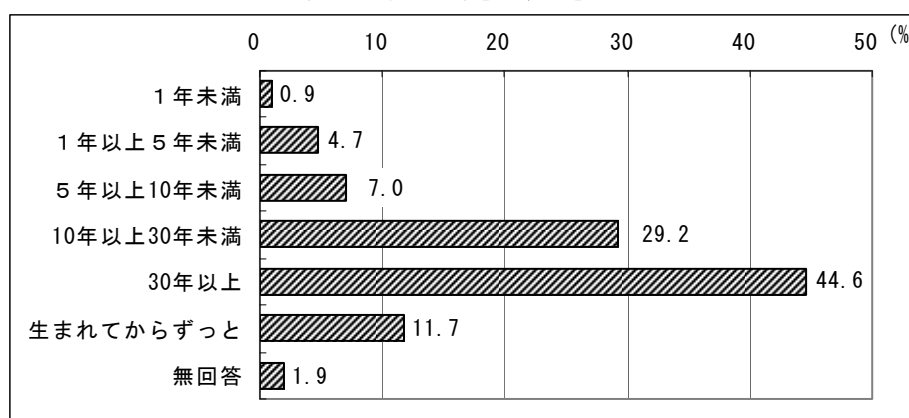
図表 149 <圏域別>居住形態[N=3, 259]

	合計	持ち家 (1戸建て)	持ち家 (長屋建て)	持ち家 (分譲マンション)	借家 (1戸建て)	借家 (長屋建て)	借家 (マンション・アパートなど)	UR賃貸住宅 公営住宅(県営・市町村営) ・	社宅・寮・官舎など	間借り	医療機関(病院など) へ入院中	有料老人ホーム、ケアハウス、高 齢者向け住宅などに入居中	その他	無回答
合計	3,259	2,601	33	183	73	58	78	104	13	6	4	14	21	71
	100.0	79.8	1.0	5.6	2.2	1.8	2.4	3.2	0.4	0.2	0.1	0.4	0.6	2.2
奈良	756	518	9	104	20	15	17	55	1	3	0	3	1	10
	100.0	68.5	1.2	13.8	2.6	2.0	2.2	7.3	0.1	0.4	0.0	0.4	0.1	1.3
西和	675	576	6	26	9	4	17	14	0	1	1	1	7	13
	100.0	85.3	0.9	3.9	1.3	0.6	2.5	2.1	0.0	0.1	0.1	0.1	1.0	1.9
東和	515	435	5	5	14	12	10	5	7	0	0	4	6	12
	100.0	84.5	1.0	1.0	2.7	2.3	1.9	1.0	1.4	0.0	0.0	0.8	1.2	2.3
中和	735	594	7	42	12	12	32	11	3	2	1	5	2	12
	100.0	80.8	1.0	5.7	1.6	1.6	4.4	1.5	0.4	0.3	0.1	0.7	0.3	1.6
南和	471	408	5	1	14	12	1	9	2	0	2	1	5	11
	100.0	86.6	1.1	0.2	3.0	2.5	0.2	1.9	0.4	0.0	0.4	0.2	1.1	2.3
無回答	107	70	1	5	4	3	1	10	0	0	0	0	0	13
	100.0	65.4	0.9	4.7	3.7	2.8	0.9	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.1

(2) 居住年数

居住年数についてきいたところ、「30年以上」の割合が44.6%と最も高く、次いで、「10年以上30年未満」が29.2%となっています。

図表 150 居住年数[N=3, 259]

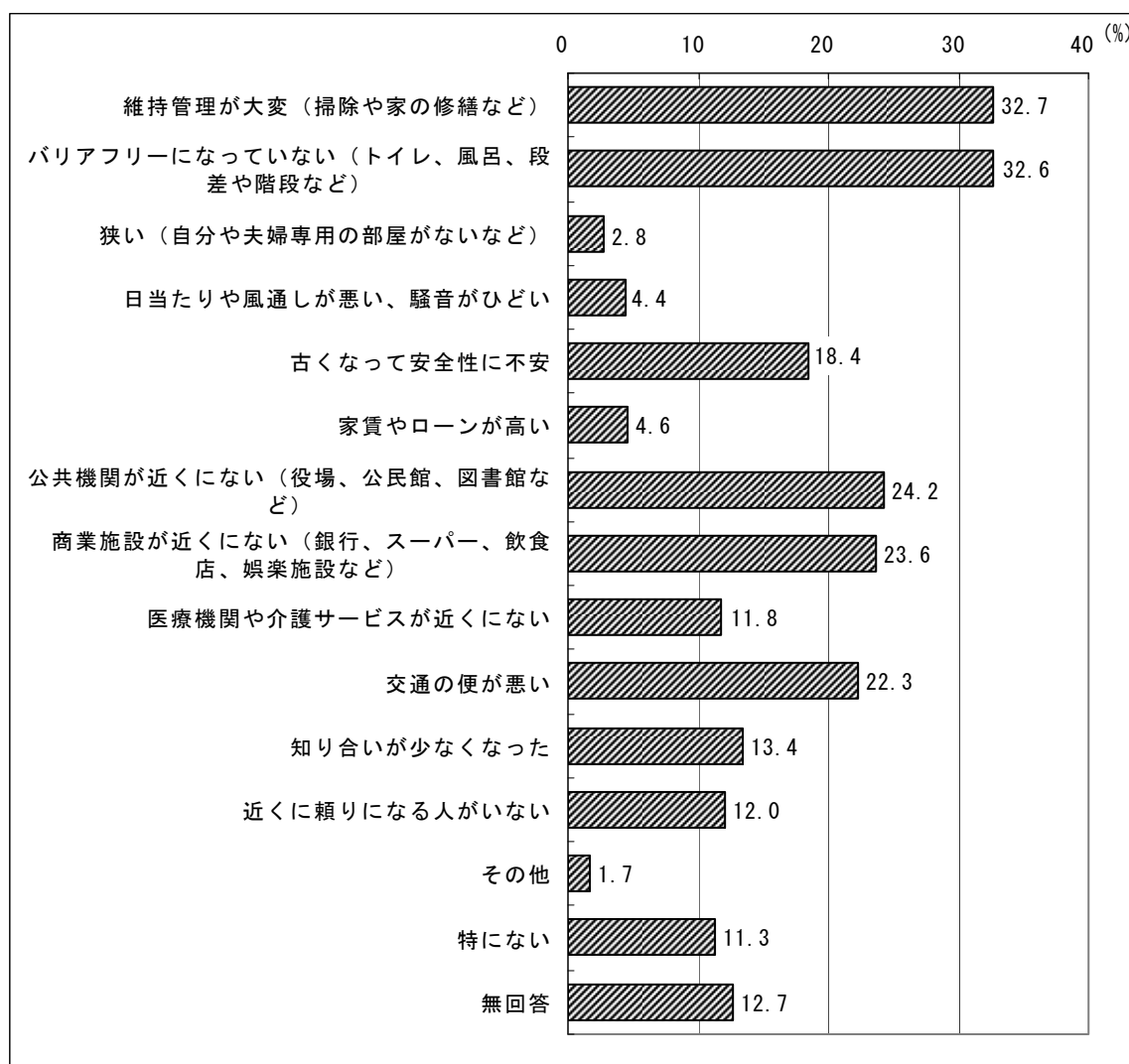


(3) 居住環境での不便や困っていること

居住環境での不便や困っていることについてきいたところ、「維持管理が大変（掃除や家の修繕など）」が32.7%と最も高く、次いで「バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）」が32.6%となっています。

圏域別にみると、上位にあげられているものに大きな違いはみられないものの、それ以外のものである、中和圏域では「公共機関が近くにない（役場、公民館、図書館など）」を、南和圏域では「公共機関が近くにない（役場、公民館、図書館など）」、「交通の便が悪い」をあげる人の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表 151 居住環境での不便や困っていること [N=3, 259 ; 複数回答]



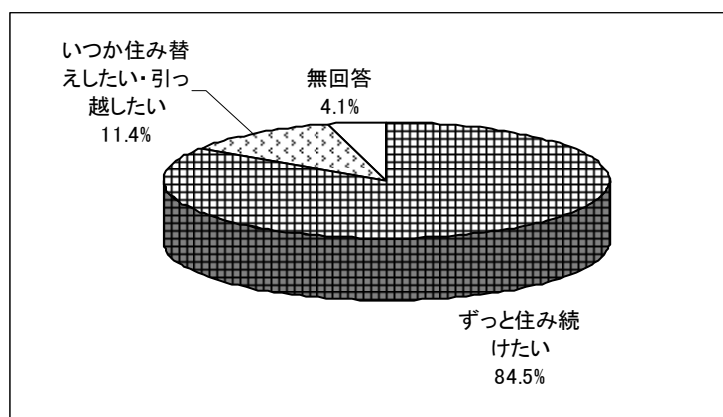
図表 152 <圏域別>居住環境での不便や困っていること [N=3, 259 ; 複数回答]

	合計	維持管理が大変 (掃除や家の修繕など)	バリアフリーになっていない (トイレ、風呂、 段差や階段など)	狭い (自分や夫婦専用の部屋がないなど)	日当たりや風通しが悪い、 騒音がひどい	古くなって安全性に不安	家賃やローンが高い	公共機関が近くにない (役場、公民館、図書館 など)	商業施設が近くにない (銀行、スーパー、飲食 店、娯楽施設など)	医療機関や介護サービスが 近くにない	交通の便が悪い	知り合いが少なくなった	近くに頼りになる人がいない	その他	特になし	無回答
合計	3,259	1,067	1,061	92	142	601	151	789	769	385	726	437	390	54	367	414
	100.0	32.7	32.6	2.8	4.4	18.4	4.6	24.2	23.6	11.8	22.3	13.4	12.0	1.7	11.3	12.7
奈良	756	245	237	29	37	128	40	163	172	65	86	106	100	10	102	86
	100.0	32.4	31.3	3.8	4.9	16.9	5.3	21.6	22.8	8.6	11.4	14.0	13.2	1.3	13.5	11.4
西和	675	229	224	21	24	112	32	130	145	73	129	89	78	11	89	79
	100.0	33.9	33.2	3.1	3.6	16.6	4.7	19.3	21.5	10.8	19.1	13.2	11.6	1.6	13.2	11.7
東和	515	169	172	11	27	118	16	108	134	67	128	71	63	11	63	65
	100.0	32.8	33.4	2.1	5.2	22.9	3.1	21.0	26.0	13.0	24.9	13.8	12.2	2.1	12.2	12.6
中和	735	228	229	19	34	141	46	221	140	83	146	96	78	11	75	104
	100.0	31.0	31.2	2.6	4.6	19.2	6.3	30.1	19.0	11.3	19.9	13.1	10.6	1.5	10.2	14.1
南和	471	160	175	12	18	87	11	150	158	84	217	61	57	8	33	49
	100.0	34.0	37.2	2.5	3.8	18.5	2.3	31.8	33.5	17.8	46.1	13.0	12.1	1.7	7.0	10.4
無回答	107	36	24	0	2	15	6	17	20	13	20	14	14	3	5	31
	100.0	33.6	22.4	0.0	1.9	14.0	5.6	15.9	18.7	12.1	18.7	13.1	13.1	2.8	4.7	29.0

(4) 今後も今の自宅で住み続けたいか

今後も今の自宅で住み続けたいかについてきいたところ、「ずっと住み続けたい」が 84.5%、「いつか住み替えたい・引っ越したい」が 11.4%となっています。

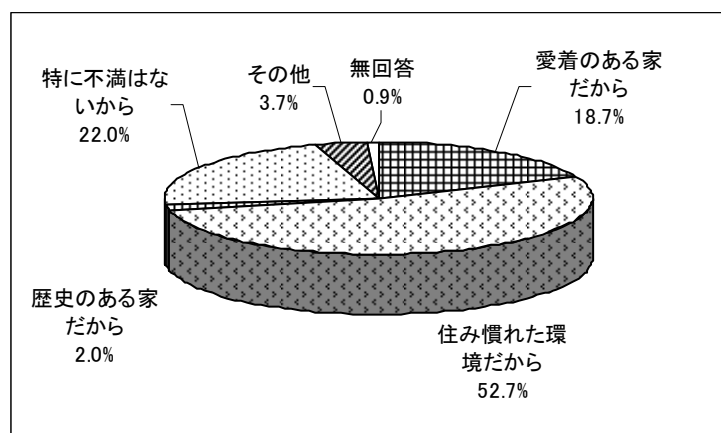
図表 153 今後も今の自宅で住み続けたいか [N=3, 259]



(5) 住み続けたい理由

住み続けたい理由についてきいたところ、「住み慣れた環境だから」の割合が52.7%と最も高く、次いで、「特に不満はないから」が22.0%となっています。

図表 154 住み続けたい理由 [N=2,753]

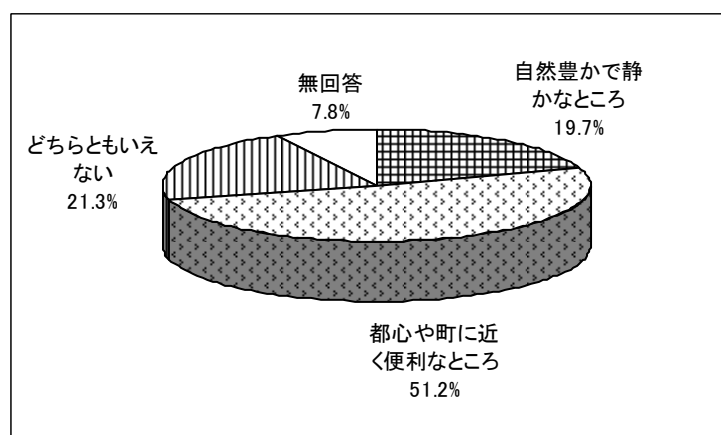


(6) 住み替えしたい条件

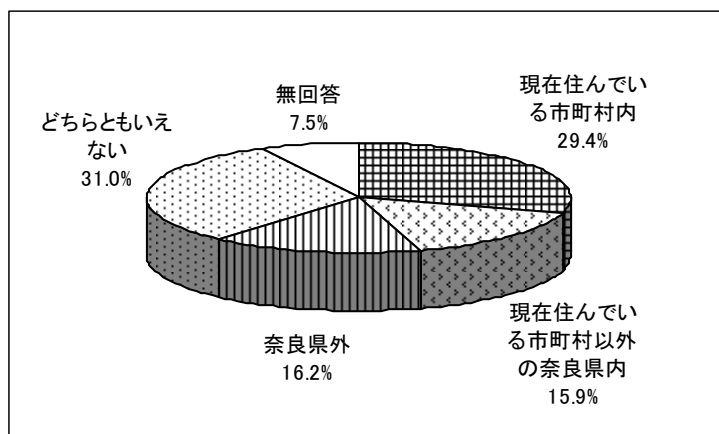
いつか住み替えしたい・引っ越したいと回答した人に、住み替えしたい立地条件についてきいたところ、「都心や町に近く便利なところ」の割合が51.2%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が21.3%となっています。

立地場所については、「どちらともいえない」の割合が31.0%と最も高く、次いで、「現在住んでいる市町村内」が29.4%となっています。

図表 155 住み替えしたい条件（立地条件） [N=371]



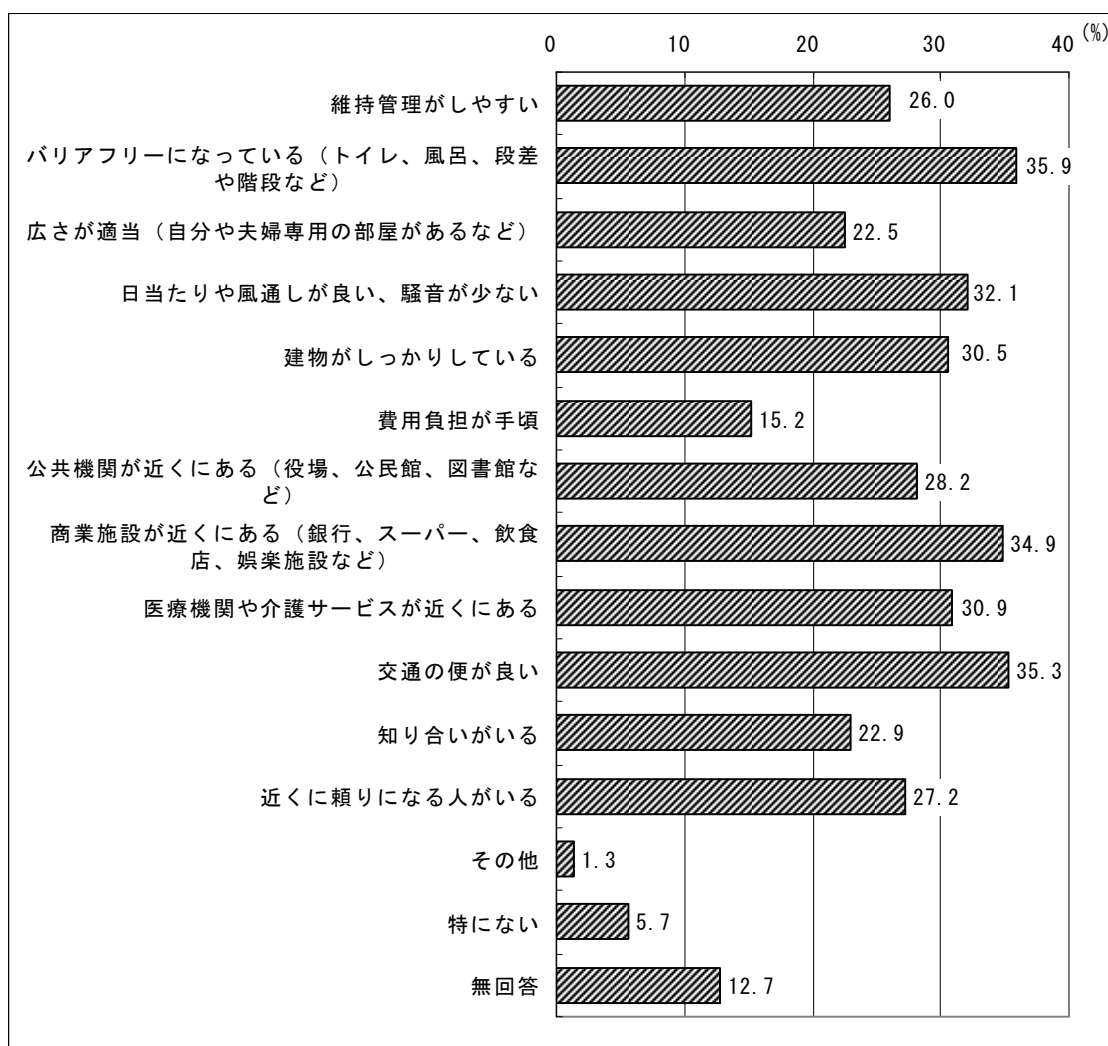
図表 156 住み替えしたい条件（立地場所） [N=371]



(7) 居住環境で今後求めるもの

居住環境で今後求めるものについてきいたところ、「バリアフリーになっている（トイレ、風呂、段差や階段など）」の割合が 35.9%と最も高く、次いで、「交通の便が良い」が 35.3%となっています。

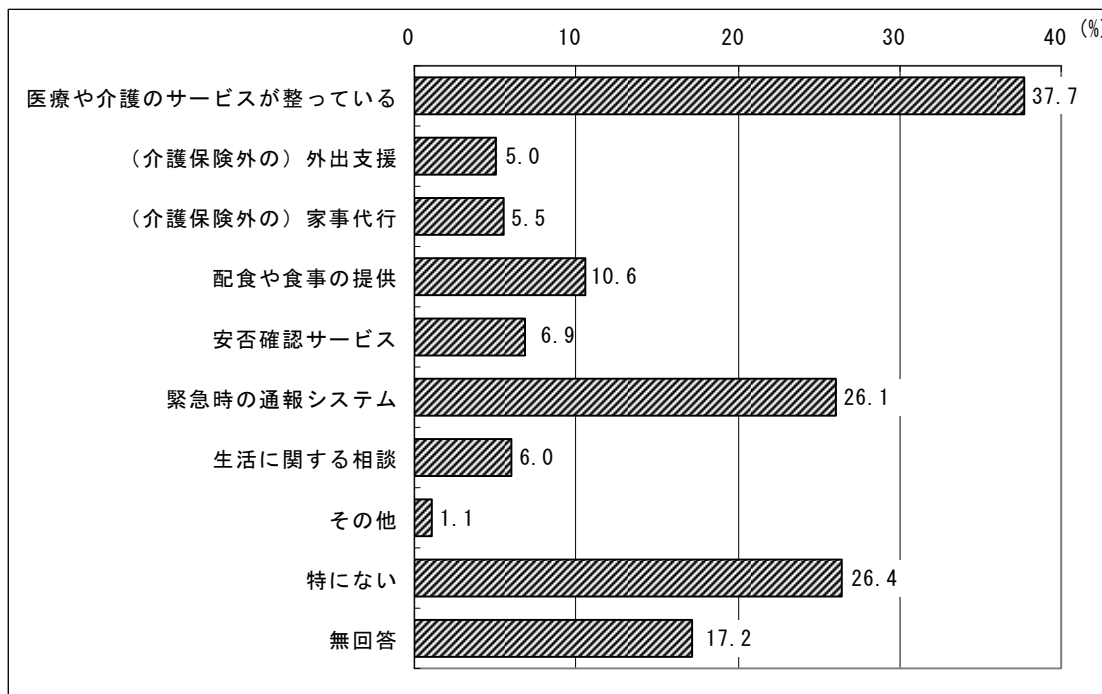
図表 157 居住環境で今後求めるもの [N=3, 259 ; 複数回答]



(8) 身近なところであればよいサービス

身近なところであればよいサービスについてきいたところ、「医療や介護のサービスが整っている」の割合が 37.7%と最も高く、次いで、「緊急時の通報システム」が 26.1%となっています。一方、「特にない」は 26.4%となっています。

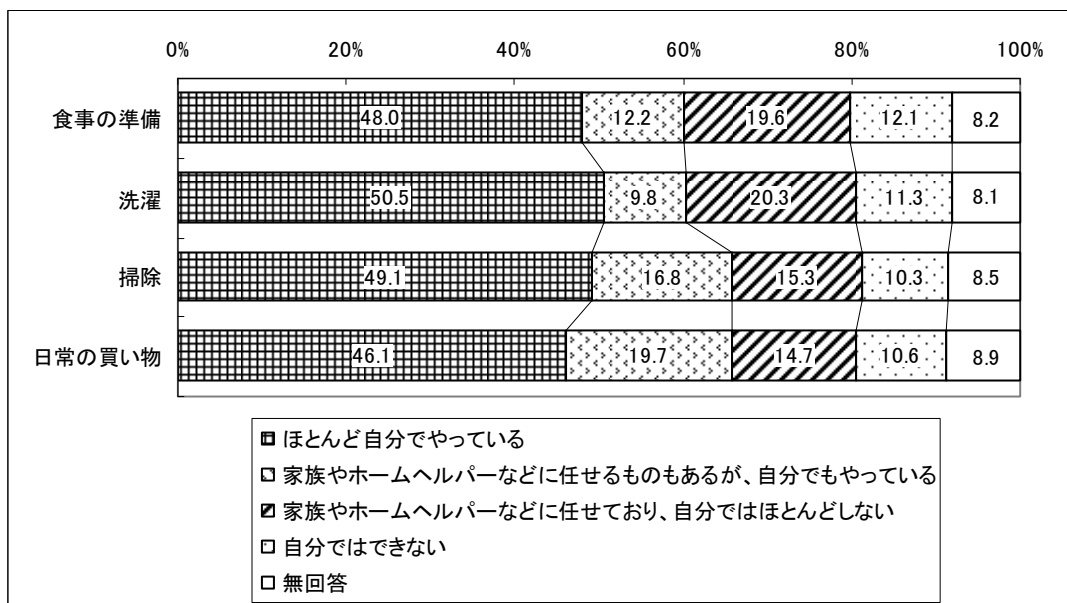
図表 158 身近なところであればよいサービス [N=3, 259 ; 2つまで]



(9) 日常の家事の状況

日常の家事の状況についてきいたところ、どの家事も約半数が「ほとんど自分でやっている」としています。また、食事の準備や洗濯については、「家族やホームヘルパーなどに任せており、自分ではほとんどしない」が約 20%となっています。

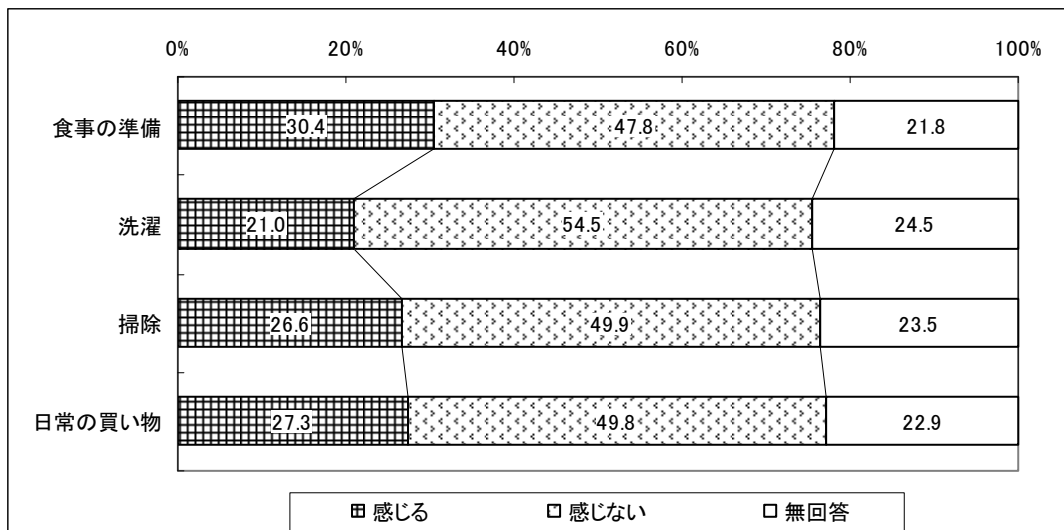
図表 159 日常の家事の状況 [N=3, 259]



(10) 家事の負担感

家事の負担感についてきいたところ、どの家事についても約半数が「感じない」としています。一方、「感じる」は約 21～30%となっており、特に「食事の準備」が他より高くなっています。

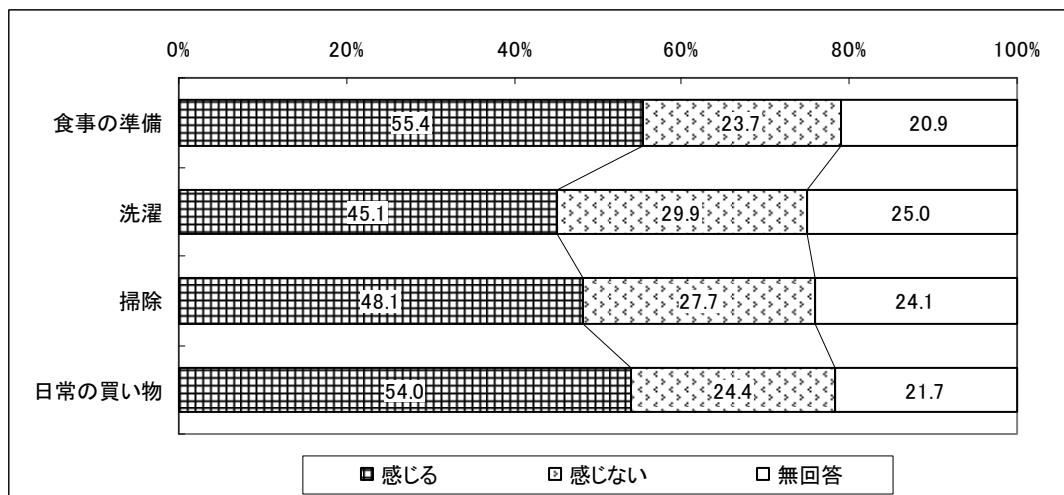
図表 160 家事の負担感 [N=3, 259]



(11) 家事についての将来の不安

家事についての将来の不安についてきいたところ、どの家事についても半数前後が「感じる」としています。一方、「感じない」は約 23～30%となっています。

図表 161 家事についての将来の不安 [N=3, 259]

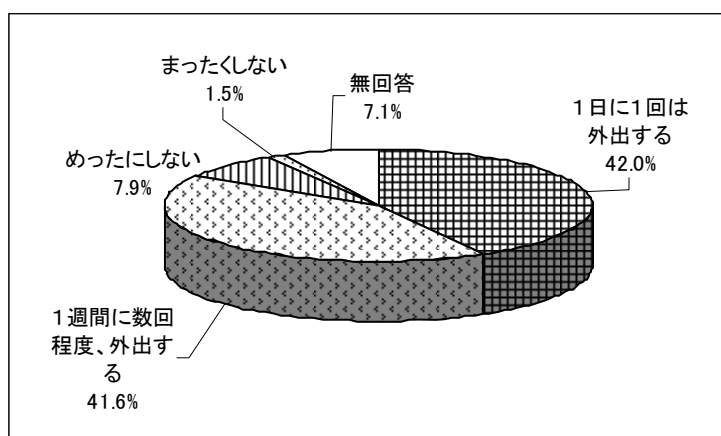


(12) 外出する機会

外出する機会についてきいたところ、「1日に1回は外出する」が42.0%と最も高く、次いで、「1週間に数回程度、外出する」が41.6%となっており、約84%が比較的外出するとしています。一方、「めったにしない」が7.9%、「まったくしない」が1.5%と、約9%がほとんど外出しないとしています。

年代・性別にみると、65～74歳男性は「1日1回は外出する」人の割合が約58%と他に比べて高くなっています。年齢が高い方が、「1日1回は外出する」人の割合が低くなる一方で、「めったにしない」、「まったくしない」人の割合が高くなっています。

図表 162 外出する機会 [N=3, 259]



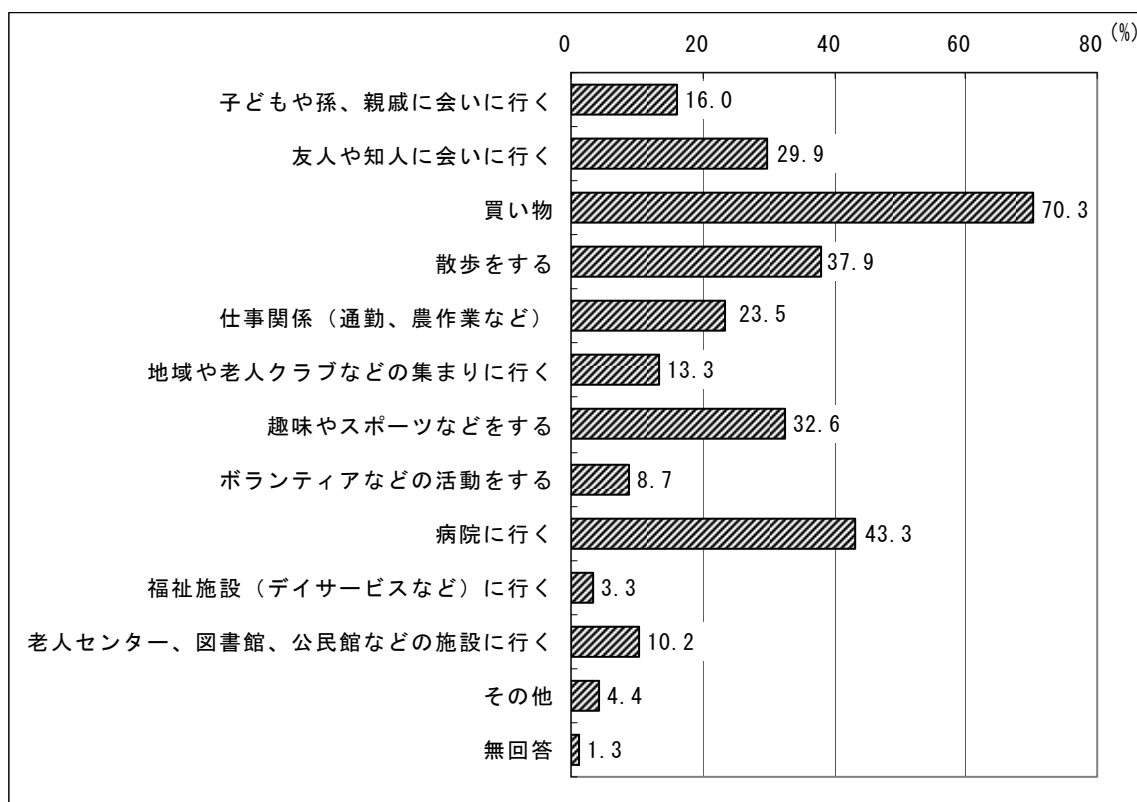
図表 163 <年代・性別>外出する機会 [N=3, 259]

	合計	1日に1回は外出する	1週間に数回程度、外出する	めったにしない	まったくしない	無回答
合計	3,259	1,368	1,355	256	49	231
	100.0	42.0	41.6	7.9	1.5	7.1
65～74歳男	794	462	260	32	6	34
	100.0	58.2	32.7	4.0	0.8	4.3
65～74歳女	861	382	391	35	3	50
	100.0	44.4	45.4	4.1	0.3	5.8
75歳以上男	810	313	343	68	20	66
	100.0	38.6	42.3	8.4	2.5	8.1
75歳以上女	702	173	325	116	19	69
	100.0	24.6	46.3	16.5	2.7	9.8
無回答	92	38	36	5	1	12
	100.0	41.3	39.1	5.4	1.1	13.0

(13) 外出目的

外出目的についてきいたところ、「買い物」の割合が70.3%と最も高く、次いで、「病院に行く」が43.3%となっています。

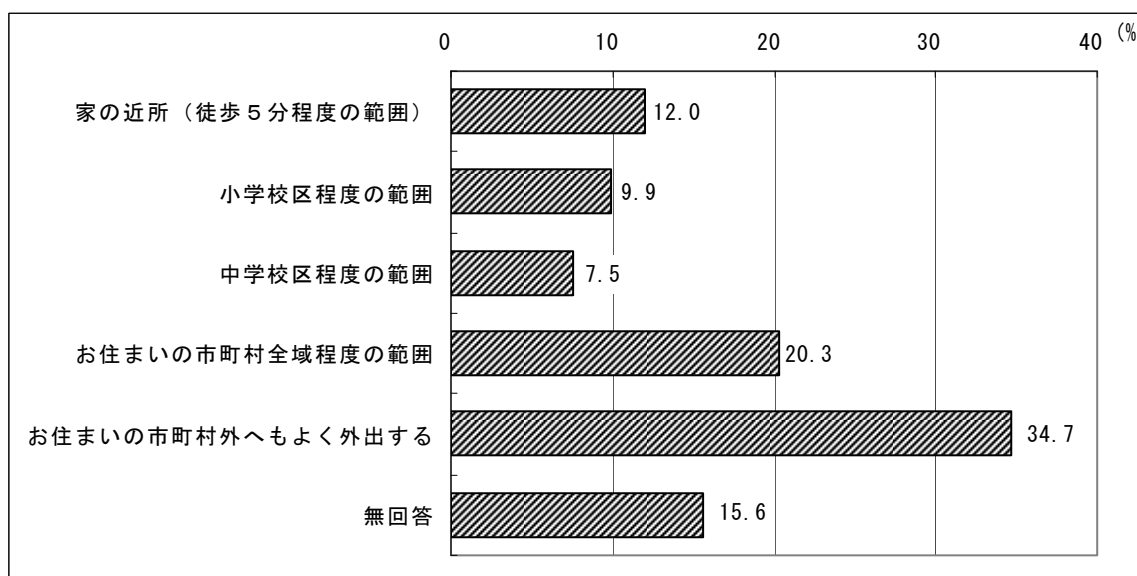
図表 164 外出目的 [N=2,723 ; 複数回答]



(14) 外出範囲

外出範囲についてきいたところ、「住まいの市町村外へもよく外出する」の割合が34.7%と最も高く、次いで、「住まいの市町村全域程度の範囲」が20.3%となっています。

図表 165 外出範囲 [N=2,723]

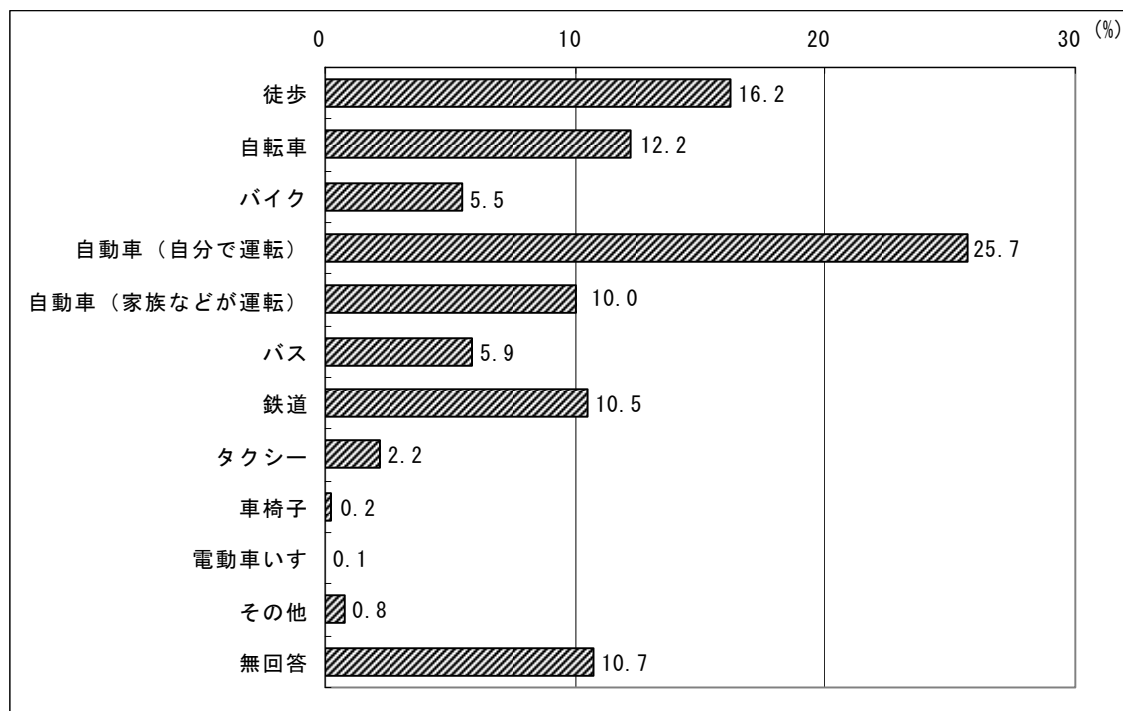


(15) 交通手段

交通手段についてきいたところ、「自動車（自分で運転）」の割合が25.7%と最も高く、次いで、「徒歩」が16.2%となっています。

年代・性別にみると、65～74歳男性、75歳以上男性は「自動車（自分で運転）」が、75歳以上女性は「徒歩」の割合が高くなっています。

図表 166 交通手段 [N=2,723]



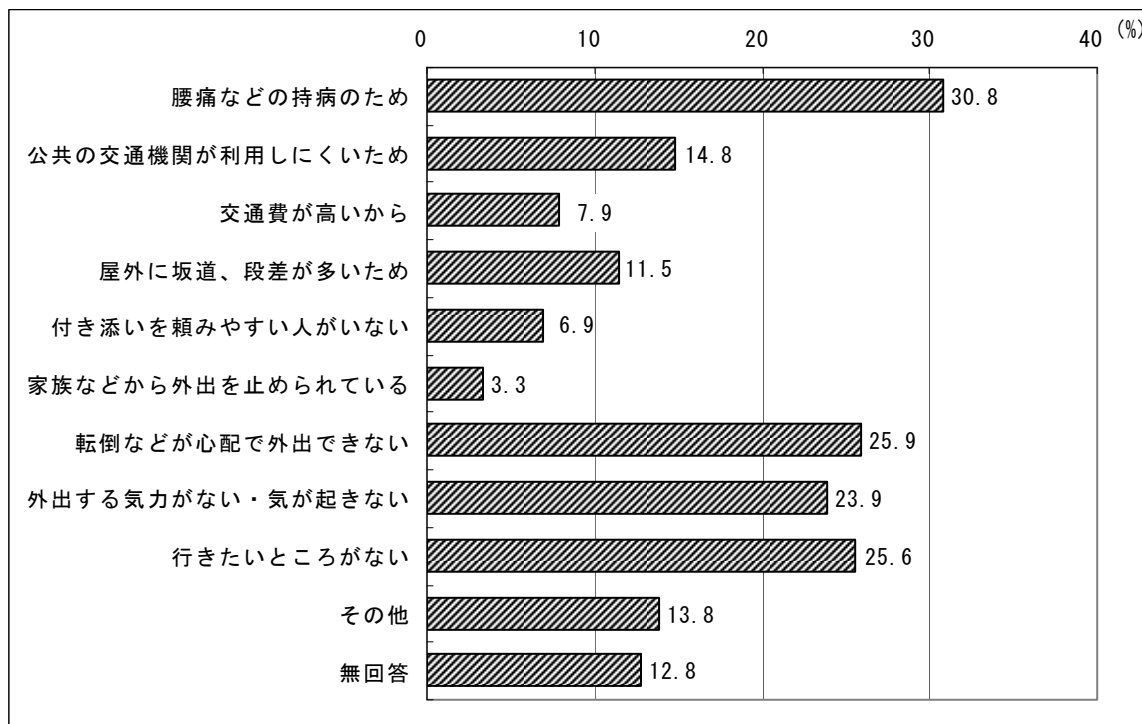
図表 167 <年代・性別>交通手段 [N=2,723]

	合計	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (家族などが 運転)	バス	鉄道	タクシー	車椅子	電動車いす	その他	無回答
合計	2,723	442	332	149	700	272	161	286	61	6	3	21	290
	100.0	16.2	12.2	5.5	25.7	10.0	5.9	10.5	2.2	0.2	0.1	0.8	10.7
65～74歳男	722	87	63	29	349	25	12	68	3	0	0	0	86
	100.0	12.0	8.7	4.0	48.3	3.5	1.7	9.4	0.4	0.0	0.0	0.0	11.9
65～74歳女	773	116	120	75	101	99	53	104	12	0	1	2	90
	100.0	15.0	15.5	9.7	13.1	12.8	6.9	13.5	1.6	0.0	0.1	0.3	11.6
75歳以上男	656	101	85	29	218	39	34	62	17	4	1	6	60
	100.0	15.4	13.0	4.4	33.2	5.9	5.2	9.5	2.6	0.6	0.2	0.9	9.1
75歳以上女	498	127	50	14	13	100	58	45	29	2	1	13	46
	100.0	25.5	10.0	2.8	2.6	20.1	11.6	9.0	5.8	0.4	0.2	2.6	9.2
無回答	74	11	14	2	19	9	4	7	0	0	0	0	8
	100.0	14.9	18.9	2.7	25.7	12.2	5.4	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8

(16) 外出しない理由

外出しない理由についてきいたところ、「腰痛などの持病のため」の割合が30.8%と最も高く、次いで、「転倒などが心配で外出できない」が25.9%となっています。一方で、「行きたいところがない」が25.6%、「外出する気力がない・気が起きない」が23.9%となっています。

図表 168 外出しない理由 [N=305 ; 複数回答]

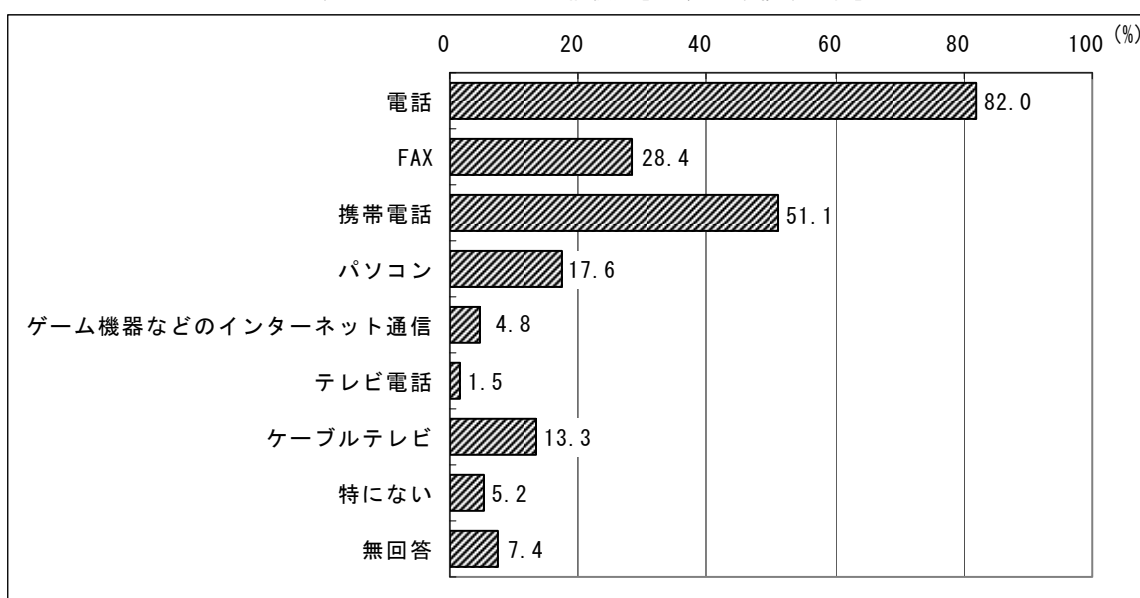


(17) 利用している通信機器

利用している通信機器についてきいたところ、「電話」の割合が82.0%と最も高く、次いで、「携帯電話」が51.1%となっています。

年代・性別にみると、どの年代も「電話」の利用が高いのは同じですが、それ以外では、「携帯電話」は65～74歳男女とも60～70%の利用となっています。また、「パソコン」についても、65～74歳男性では約39%が利用しています。

図表 169 利用している通信機器 [N=3, 259 ; 複数回答]



図表 170 <年代・性別>利用している通信機器 [N=3, 259 ; 複数回答]

	合計	電話	F A X	携帯電話	パソコン	ゲーム機器などのインターネット通信	テレビ電話	ケーブルテレビ	特にない	無回答
合計	3,259	2,671	925	1,664	575	158	48	432	170	242
	100.0	82.0	28.4	51.1	17.6	4.8	1.5	13.3	5.2	7.4
65～74 歳男	794	666	373	555	308	86	14	154	18	53
	100.0	83.9	47.0	69.9	38.8	10.8	1.8	19.4	2.3	6.7
65～74 歳女	861	766	269	517	113	39	9	99	10	48
	100.0	89.0	31.2	60.0	13.1	4.5	1.0	11.5	1.2	5.6
75 歳以上男	810	617	199	331	128	23	12	97	72	72
	100.0	76.2	24.6	40.9	15.8	2.8	1.5	12.0	8.9	8.9
75 歳以上女	702	555	67	222	17	4	7	66	65	58
	100.0	79.1	9.5	31.6	2.4	0.6	1.0	9.4	9.3	8.3
無回答	92	67	17	39	9	6	6	16	5	11
	100.0	72.8	18.5	42.4	9.8	6.5	6.5	17.4	5.4	12.0

4. 日常の過ごし方、楽しみや生きがい

(1) 平日の過ごし方

平日の過ごし方についてきいたところ、概ねどの時間も「自宅で家事をしている」、「自宅でゆっくりしている」割合が高くなっています。その他では、「仕事に出かけている」割合が比較的高くなっています。

図表 171 平日の過ごし方 [N=3,259 ; 2つまで]

	9時～12時	12時～15時	15時～18時	18時～21時
自宅でゆっくりしている	16.2	30.8	16.4	48.0
自宅で家事をしている	20.7	5.5	15.6	8.0
自宅で仕事をしている	5.2	3.3	2.9	0.8
植木の世話やガーデニング	4.4	2.3	6.3	0.3
自宅で趣味の活動をしている	3.3	4.5	4.1	3.4
仕事に出かけている	6.4	6.4	5.4	0.8
田畑や山林で作業をしている	5.2	1.9	4.8	0.2
買い物(ショッピング)に出かけている	4.3	6.4	4.3	0.2
知人や友人宅に行っている	0.2	0.6	0.7	0.2
運動やスポーツをしている	2.8	2.4	1.4	0.6
散歩している	2.3	0.9	4.1	1.4
趣味の活動や習い事をしている	0.7	2.3	1.2	0.5
図書館や公民館に出かけている	0.2	0.7	0.4	0.0
娯楽施設に出かけている	0.2	0.4	0.4	0.2
釣りに出かけている	0.1	0.0	0.0	0.0
ボランティアや地域活動を行っている	0.6	0.9	0.7	0.0
その他	1.6	1.7	1.4	0.9
無回答	25.9	29.0	29.7	34.6

(2) 休日の過ごし方

休日の過ごし方についてきいたところ、9時～12時、15～18時は「自宅で家事をしている」、「自宅でゆっくりしている」割合が高くなっています。また、12時～15時は「自宅でゆっくりしている」、「買い物（ショッピング）に出かけている」割合が高くなっています。18～21時は、半数弱が「自宅でゆっくりしている」となっています。

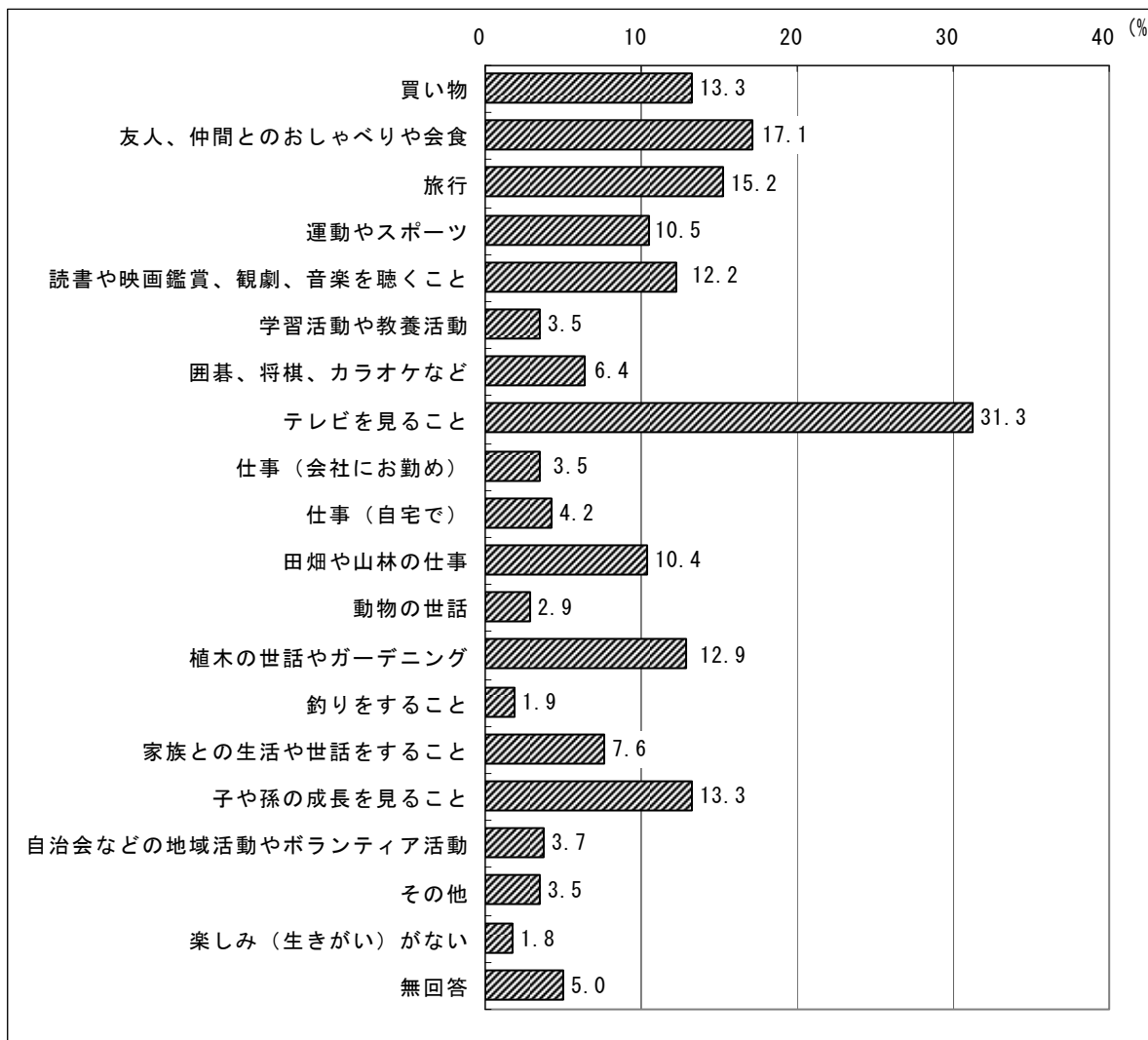
図表 172 休日の過ごし方 [N=3,259 ; 2つまで]

	9時～12時	12時～15時	15時～18時	18時～21時
自宅でゆっくりしている	21.5	28.8	18.6	44.3
自宅で家事をしている	15.3	4.7	10.9	5.8
自宅で仕事をしている	1.9	1.5	1.4	0.4
植木の世話やガーデニング	4.3	2.8	5.4	0.2
自宅で趣味の活動をしている	2.9	4.1	3.9	2.7
仕事に出かけている	0.6	0.4	0.5	0.1
田畑や山林で作業をしている	4.4	1.8	4.2	0.0
買い物(ショッピング)に出かけている	4.9	8.5	5.0	0.3
知人や友人宅に行っている	0.3	0.8	1.2	0.2
運動やスポーツをしている	2.0	1.9	1.3	0.3
散歩している	2.4	1.2	4.0	1.1
趣味の活動や習い事をしている	0.8	1.8	1.7	0.5
図書館や公民館に出かけている	0.4	0.4	0.4	0.0
娯楽施設に出かけている	0.3	1.0	0.9	0.3
釣りに出かけている	0.3	0.3	0.2	0.1
ボランティアや地域活動を行っている	0.3	0.6	0.3	0.1
その他	1.0	1.1	1.0	0.8
無回答	36.3	38.1	39.2	42.7

(3) 日常の楽しみ（生きがい）

日常の楽しみ（生きがい）についてきいたところ、「テレビを見ること」の割合が31.3%と最も高く、次いで、「友人、仲間とおしゃべりや会食」が17.1%となっています。

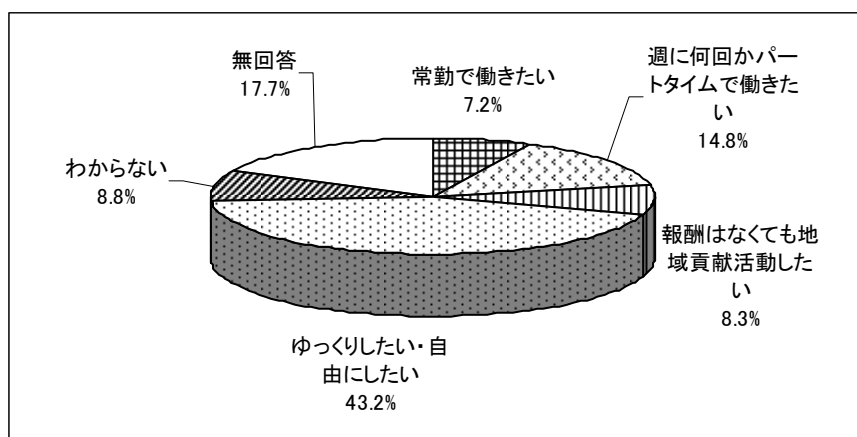
図表 173 日常の楽しみ（生きがい）[N=3,259；2つまで]



(4) 65歳以降に働くことや活動することについて

65歳以降に働くことや活動することについてきいたところ、「常勤で働きたい」が7.2%、「週に何回かパートタイムで働きたい」が14.8%と、就労意向がある人が22%、「報酬はなくても地域貢献活動をしたい」が8.3%、「ゆっくりしたい・自由にしたい」が43.2%となっています。

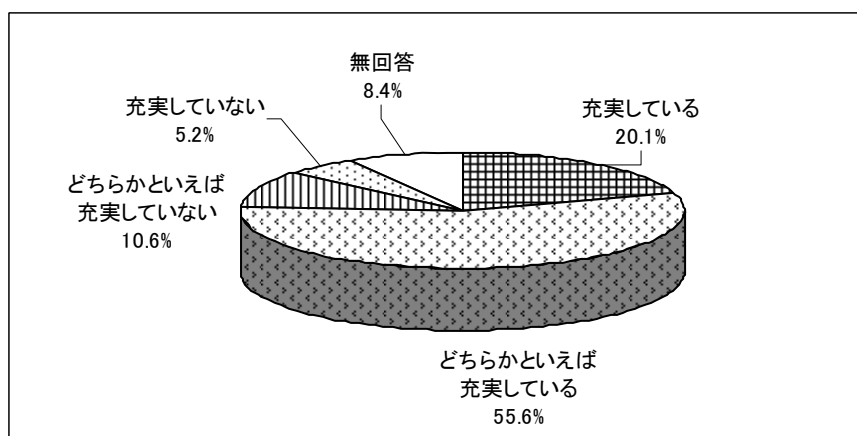
図表 174 65歳以降に働くことや活動することについて [N=3, 259]



(5) 生活の充実度

生活の充実度についてきいたところ、「充実している」が20.1%、「どちらかといえば充実している」が55.6%と、充実していると感じている人が約76%、「どちらかといえば充実していない」が10.6%、「充実していない」が5.2%と、充実していないと感じている人が約16%となっています。

図表 175 生活の充実度 [N=3, 259]



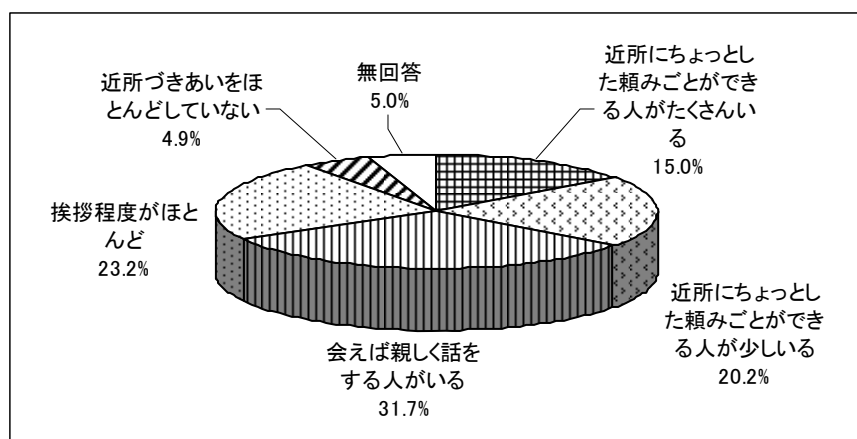
5. 地域とのかかわり

(1) 近所づきあいの程度

近所づきあいの程度についてきいたところ、「近所にちょっとした頼みごとができる人がたくさんいる」が15.0%、「近所にちょっとした頼みごとができる人が少しいる」が20.2%、「会えば親しく話をする人がいる」が31.7%と、約67%が比較的親密な近所づきあいをしています。一方、「挨拶程度がほとんど」が23.2%、「近所づきあいをほとんどしていない」が4.9%と、比較的近所づきあいをしていない人が約28%となっています。

圏域別にみると、南和圏域では「近所にちょっとした頼みごとができる人がたくさんいる」人の割合が他に比べて高く、親密な近所づきあいをしている人が多いことがうかがえます。一方、奈良圏域では「挨拶程度がほとんど」といった人の割合が他に比べて高く、比較的希薄な近所づきあいとなっていることがうかがえます。

図表 176 近所づきあいの程度 [N=3, 259]



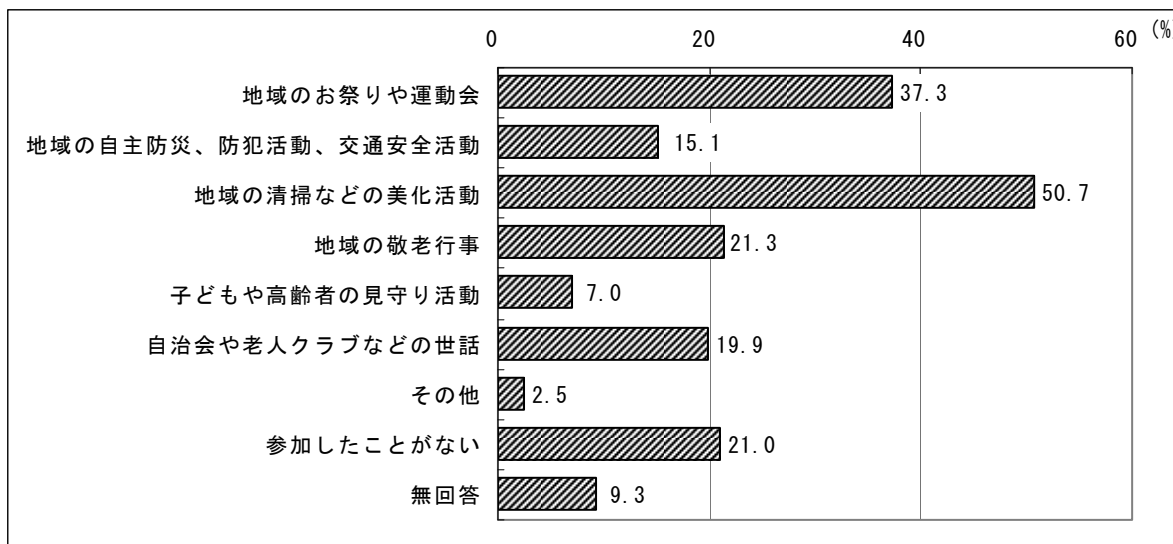
図表 177 <圏域別>近所づきあいの程度 [N=3, 259]

	合計	近所にちょっとした頼みごとができる人がたくさんいる	近所にちょっとした頼みごとができる人が少しいる	会えば親しく話をする人がいる	挨拶程度がほとんど	近所づきあいをほとんどしていない	無回答
合計	3,259	488	658	1,033	756	161	163
	100.0	15.0	20.2	31.7	23.2	4.9	5.0
奈良	756	72	152	224	236	44	28
	100.0	9.5	20.1	29.6	31.2	5.8	3.7
西和	675	82	131	205	187	47	23
	100.0	12.1	19.4	30.4	27.7	7.0	3.4
東和	515	97	103	171	98	16	30
	100.0	18.8	20.0	33.2	19.0	3.1	5.8
中和	735	97	143	253	172	32	38
	100.0	13.2	19.5	34.4	23.4	4.4	5.2
南和	471	125	107	152	45	16	26
	100.0	26.5	22.7	32.3	9.6	3.4	5.5
無回答	107	15	22	28	18	6	18
	100.0	14.0	20.6	26.2	16.8	5.6	16.8

(2) 参加したことがある地域行事や活動等

参加したことがある地域行事や活動等についてきいたところ、「地域の清掃などの美化活動」の割合が50.7%と最も高く、次いで、「地域のお祭りや運動会」が37.3%となっています。一方、「参加したことがない」は21.0%となっています。

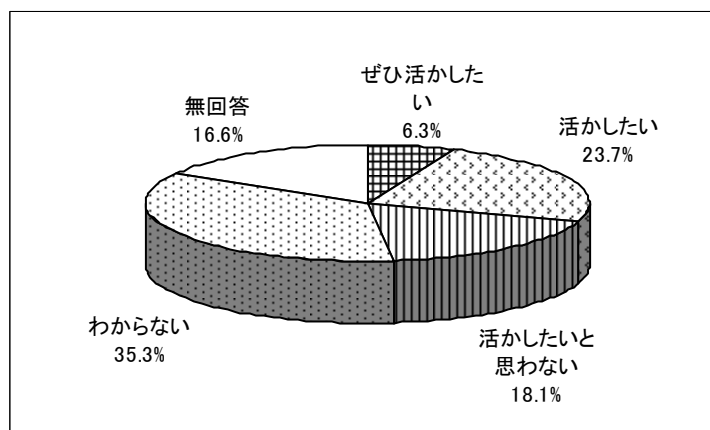
図表 178 参加したことがある地域行事や活動等 [N=3, 259 ; 複数回答]



(3) 高齢期に、経験や技術を活かしていきたいか

高齢期に、経験や技術を活かしていきたいかについてきいたところ、「ぜひ活かしたい」が6.3%、「活かしたい」が23.7%と、活かしたいと考えている人が30%、「活かしたいとは思わない」が18.1%となっています。

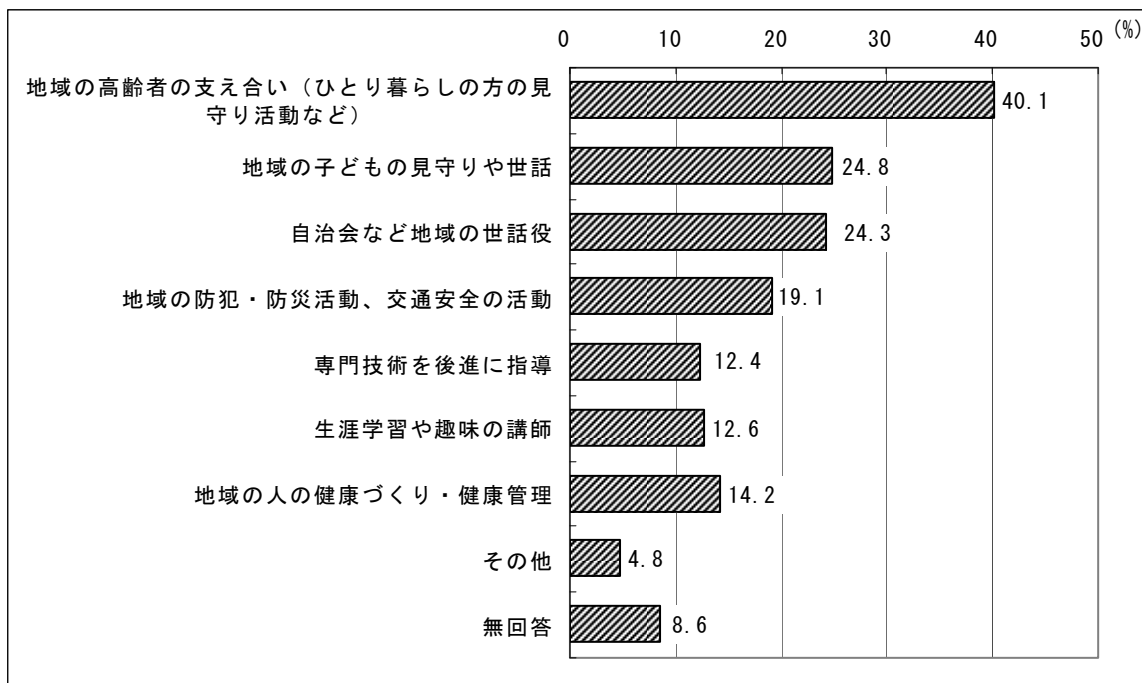
図表 179 高齢期に、経験や技術を活かしていきたいか [N=3, 259]



(4) 経験や技術を活かしたい場面

どんな場面で経験や技術を活かしたいかについてきいたところ、「地域の高齢者の支え合い（ひとり暮らしの方の見守り活動など）」の割合が40.1%と最も高く、次いで、「地域の子どもの見守りや世話」が24.8%となっています。

図表 180 経験や技術を活かしたい場面 [N=978 ; 複数回答]

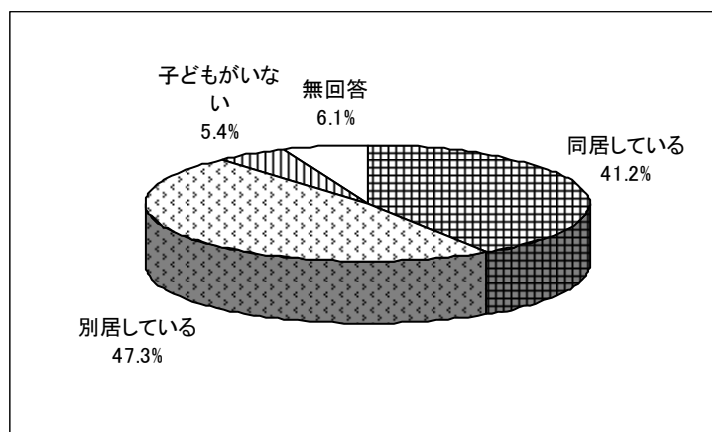


6. 世代間のかかわり方

(1) 子どもとの同居状況

子どもとの同居状況についてきいたところ、「別居している」が47.3%、「同居している」が41.2%となっています。

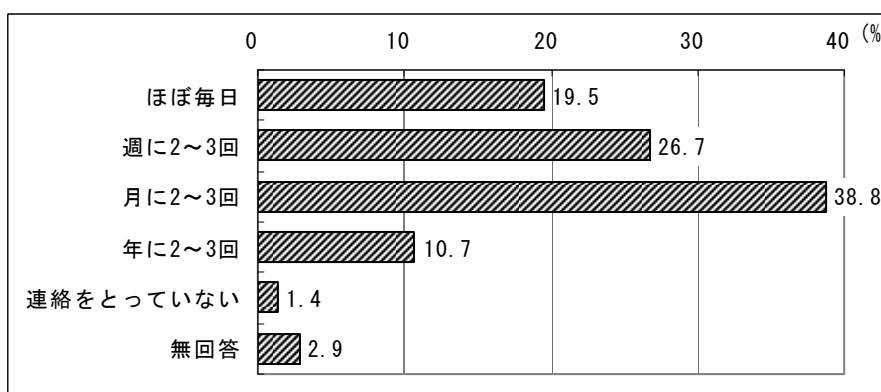
図表 181 子どもとの同居状況 [N=3, 259]



(2) 別居している子どもと連絡をとる頻度

別居している子どもと連絡をとる頻度についてきいたところ、「月に2~3回」の割合が38.8%と最も高く、次いで、「週に2~3回」が26.7%となっています。

図表 182 別居している子どもと連絡をとる頻度 [N=1, 542]

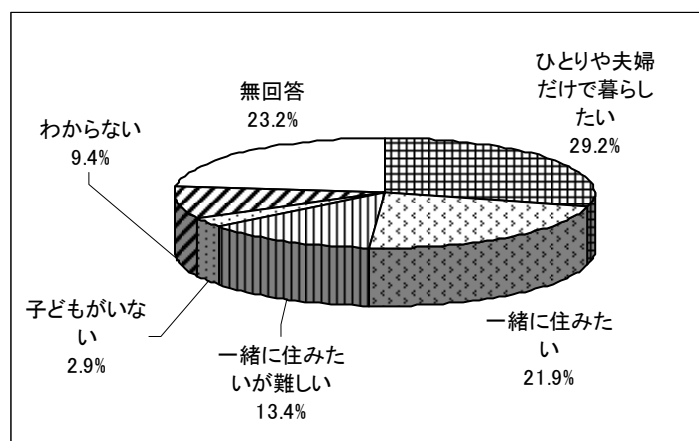


(3)子どもとの今後の同居意向

今後、子どもと同居したいかきいたところ、「ひとりや夫婦だけで暮らしたい」が29.2%と最も高く、次いで、「一緒に住みたい」が21.9%となっています。

年代・性別にみると、65～74歳は男女とも「ひとりや夫婦だけで暮らしたい」とする人の割合が約36%と、75歳以上に比べて高くなっています。一方、75歳以上男女は「一緒に住みたい」とする人の割合が約25%となっています。

図表 183 子どもとの今後の同居意向 [N=3, 259]



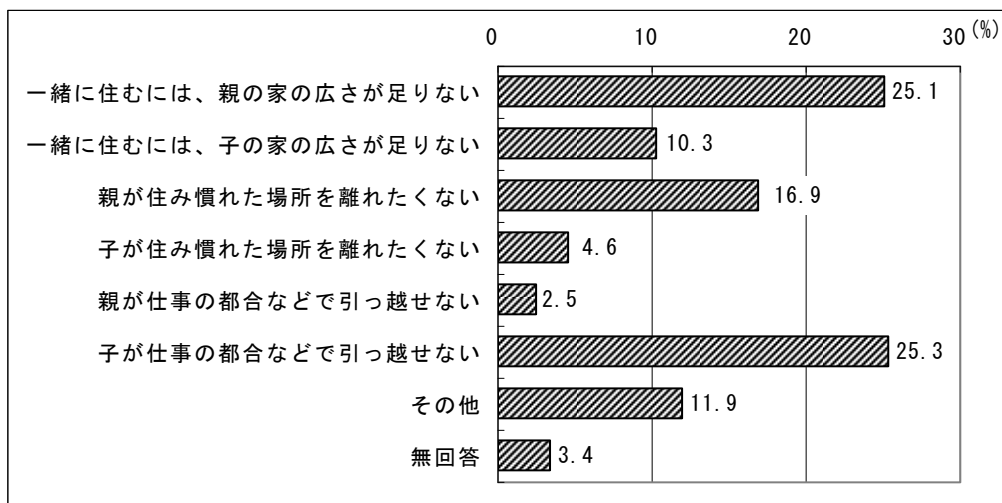
図表 184 <年代・性別>子どもとの今後の同居意向 [N=3, 259]

	合計	ひとりや夫婦だけで暮らしたい	一緒に住みたい	一緒に住みたいが難しい	子どもがいない	わからない	無回答
合計	3,259	950	713	438	95	307	756
	100.0	29.2	21.9	13.4	2.9	9.4	23.2
65～74歳男	794	288	155	132	20	98	101
	100.0	36.3	19.5	16.6	2.5	12.3	12.7
65～74歳女	861	309	158	99	27	82	186
	100.0	35.9	18.4	11.5	3.1	9.5	21.6
75歳以上男	810	212	204	120	14	66	194
	100.0	26.2	25.2	14.8	1.7	8.1	24.0
75歳以上女	702	114	178	75	29	54	252
	100.0	16.2	25.4	10.7	4.1	7.7	35.9
無回答	92	27	18	12	5	7	23
	100.0	29.3	19.6	13.0	5.4	7.6	25.0

(4) 一緒に住みたいが難しい理由

一緒に住みたいが難しい理由についてきいたところ、「子が仕事の都合などで引っ越せない」が25.3%と最も高く、次いで、「一緒に住むには、親の家の広さが足りない」が25.1%となっています。

図表 185 一緒に住みたいが難しい理由 [N=438]

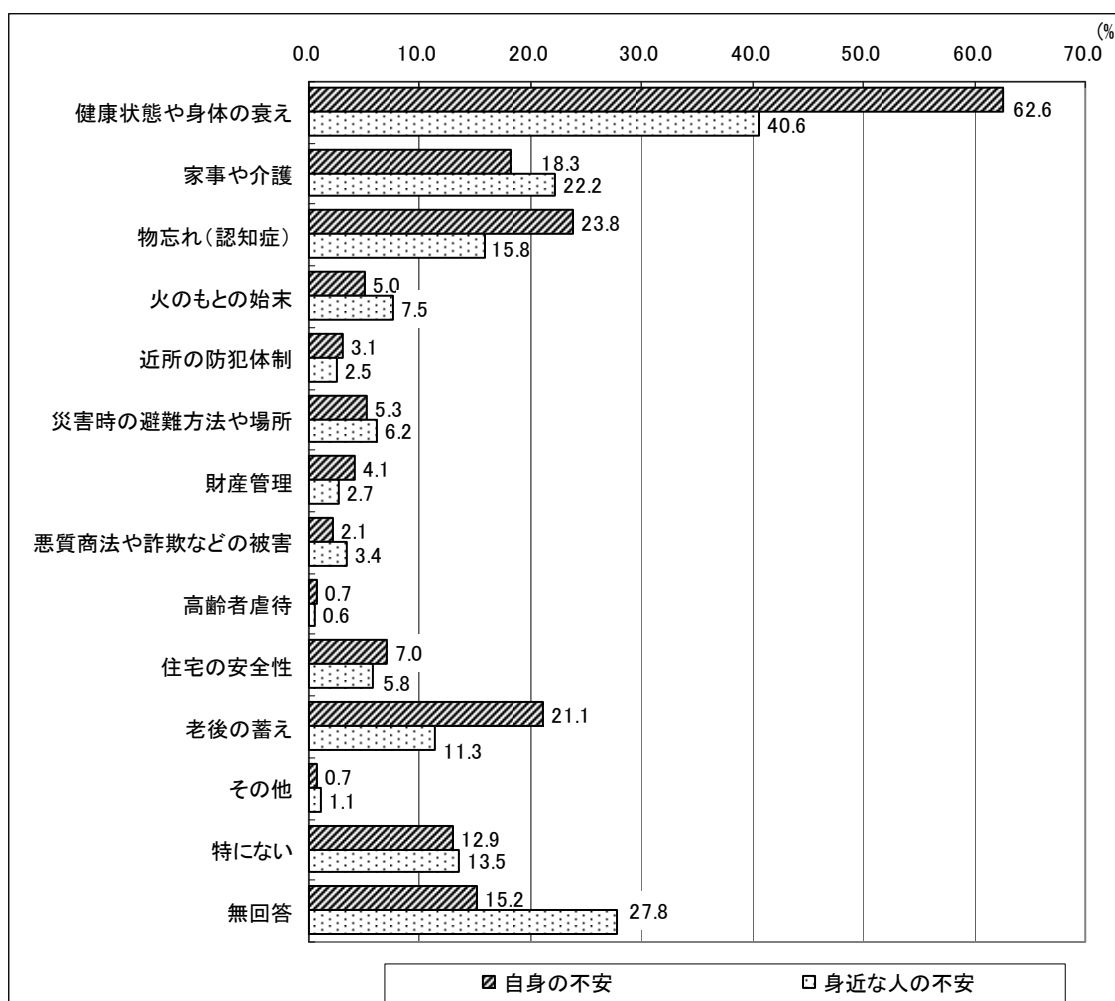


7. 安全・安心について

(1) 自身や身近な人に関する不安

自身や身近な人に関する不安（3 つまで）についてきいたところ、自身、身近な人ともに「健康状態や身体の衰え」の割合が最も高くそれぞれ 62.6%、40.6%となっています。次いで高いのは、自身では「物忘れ（認知症）」が 23.8%、身近な人では「家事や介護」が 22.2%となっています。

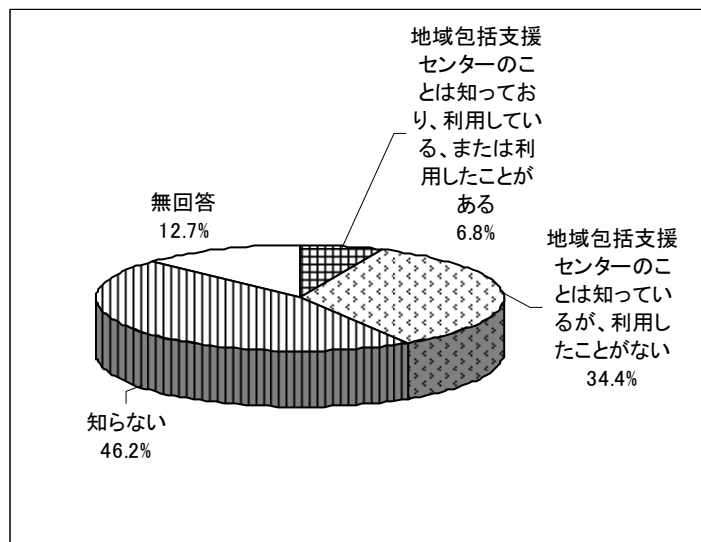
図表 186 自身および身近な人に関する不安（3 つまで）[N=3, 259；複数回答]



(2) 地域包括支援センターの認知状況

地域包括支援センターの認知状況についてきいたところ、「地域包括支援センターのことは知っており、利用している、または利用したことがある」が6.8%、「地域包括支援センターのことは知っているが、利用したことがない」が34.4%と、地域包括支援センターを知っている人は約41%、「知らない」が46.2%となっています。

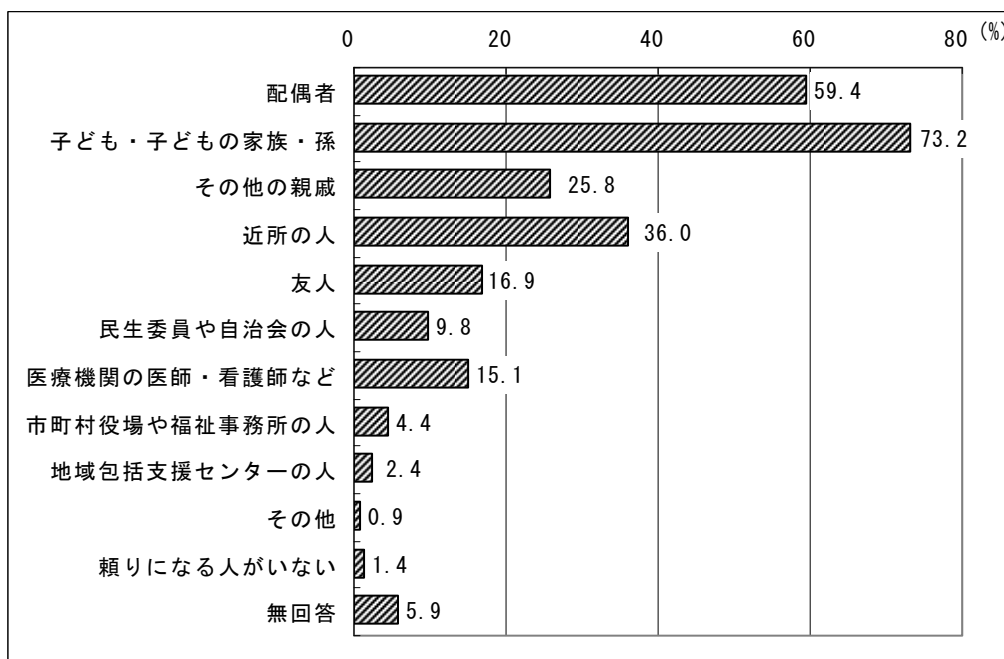
図表 187 地域包括支援センターの認知状況 [N=3, 259]



(3) 緊急時に頼りになる人

緊急時に頼りになる人についてきいたところ、「子ども・子どもの家族・孫」の割合が73.2%と最も高く、次いで、「配偶者」が59.4%となっています。

図表 188 緊急時に頼りになる人 [N=3, 259 ; 複数回答]

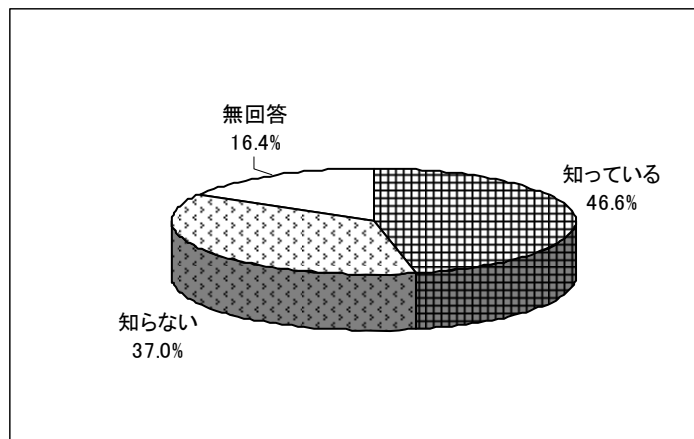


(4) 地区担当の民生委員の認知度

地区担当の民生委員を知っているかきいたところ、「知っている」が46.6%、「知らない」が37.0%となっています。

圏域別にみると、「知っている」人が半数を超えているのは、東和圏域、南和圏域となっています。一方、奈良圏域では「知らない」人が約46%と、他の圏域に比べて高くなっています。

図表 189 地区担当の民生委員の認知度 [N=3, 259]



図表 190 <圏域別>地区担当の民生委員の認知度 [N=3, 259]

	合計	知っている	知らない	無回答
合計	3,259	1,519	1,206	534
	100.0	46.6	37.0	16.4
奈良	756	306	351	99
	100.0	40.5	46.4	13.1
西和	675	290	296	89
	100.0	43.0	43.9	13.2
東和	515	258	169	88
	100.0	50.1	32.8	17.1
中和	735	335	271	129
	100.0	45.6	36.9	17.6
南和	471	282	97	92
	100.0	59.9	20.6	19.5
無回答	107	48	22	37
	100.0	44.9	20.6	34.6

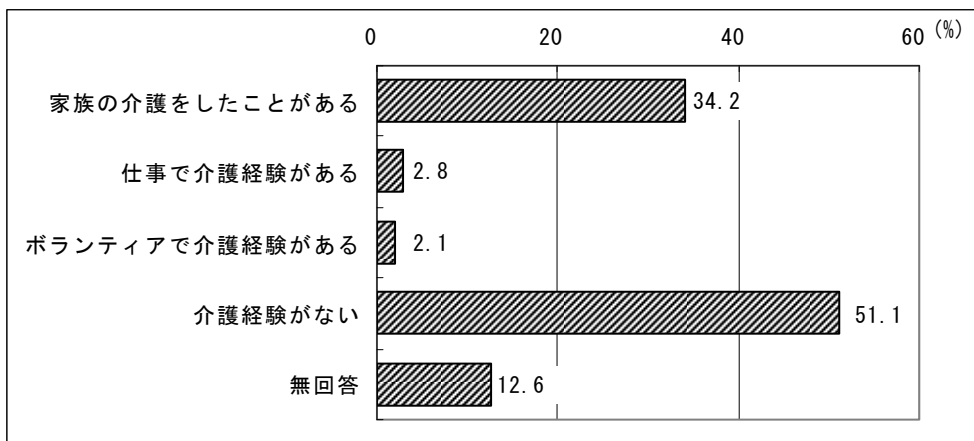
8. 介護保険や介護について

(1) 介護経験について

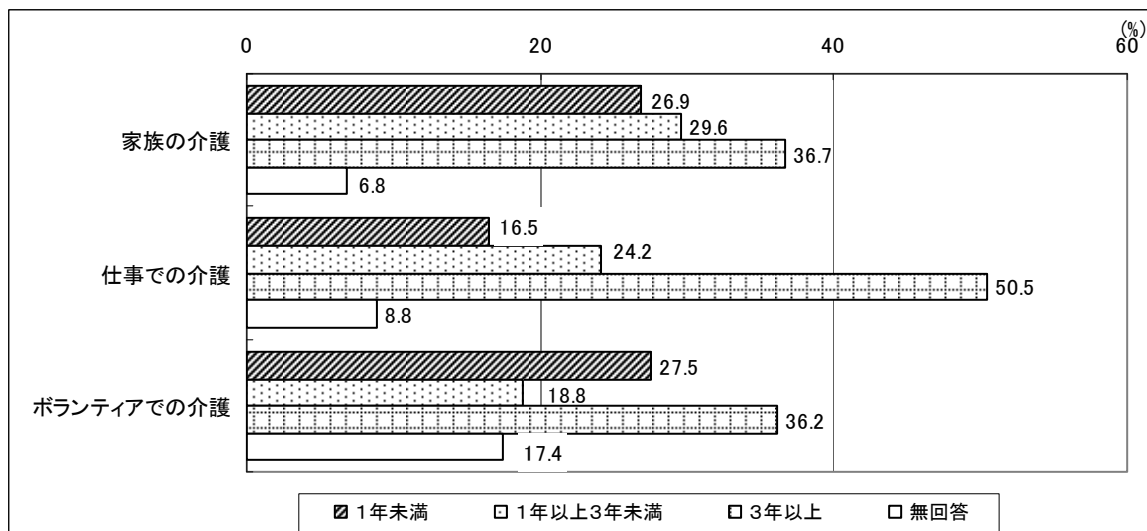
介護経験の有無についてきいたところ、「介護経験がない」が51.1%、何らかの介護経験のある人が36.3%となっています。介護経験がある人のなかでは「家族の介護をしたことがある」が34.2%と高くなっています。

介護年数については、「家族の介護」、「仕事での介護」、「ボランティアでの介護」とも「3年以上」の割合が最も高くなっています。

図表 191 介護経験の有無 [N=3, 259 ; 複数回答]



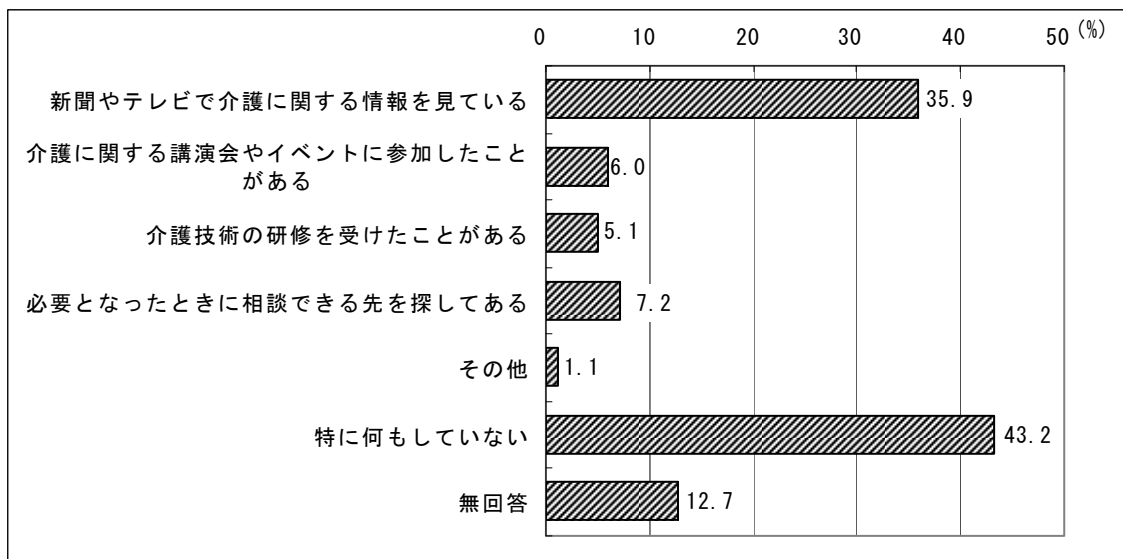
図表 192 介護経験年数 [家族 N=1, 116 ; 仕事 N=91 ; ボランティア N=69]



(2) 介護予防について何かしていること

介護予防について何かしていることをきいたところ、「特に何もしていない」の割合が43.2%と最も高くなっています。一方、何かしている人は約44%おり、なかでも「新聞やテレビで介護に関する情報を見ている」が35.9%と高くなっています。

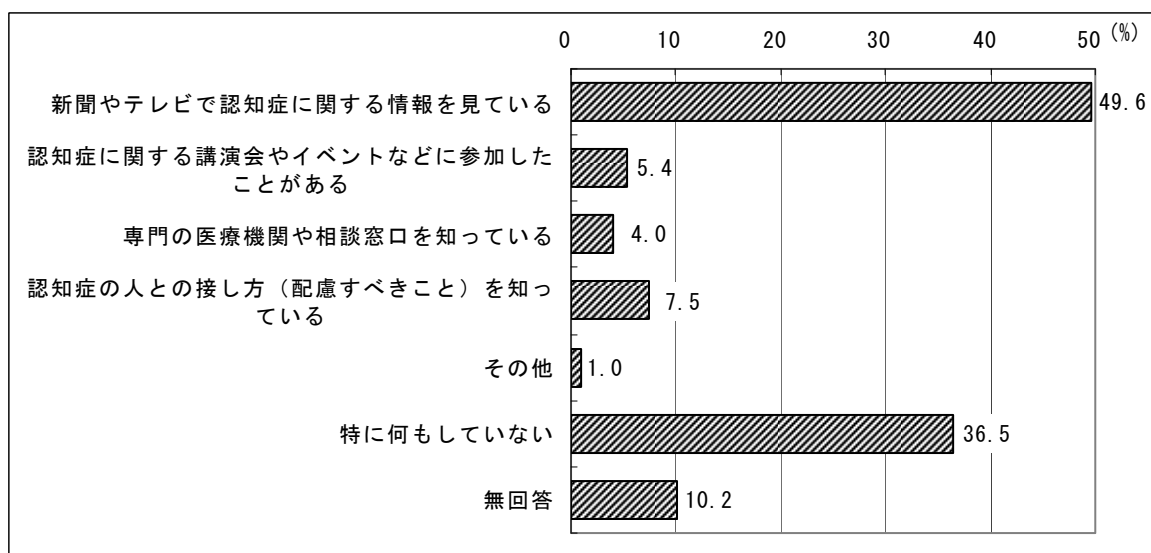
図表 193 介護予防について何かしていること [N=3, 259 ; 複数回答]



(3) 認知症について何かしていること

認知症について何かしていることをきいたところ、何かしている人は約53%で、なかでも「新聞やテレビで認知症に関する情報を見ている」の割合が49.6%と最も高くなっています。一方、「特に何もしていない」は36.5%となっています。

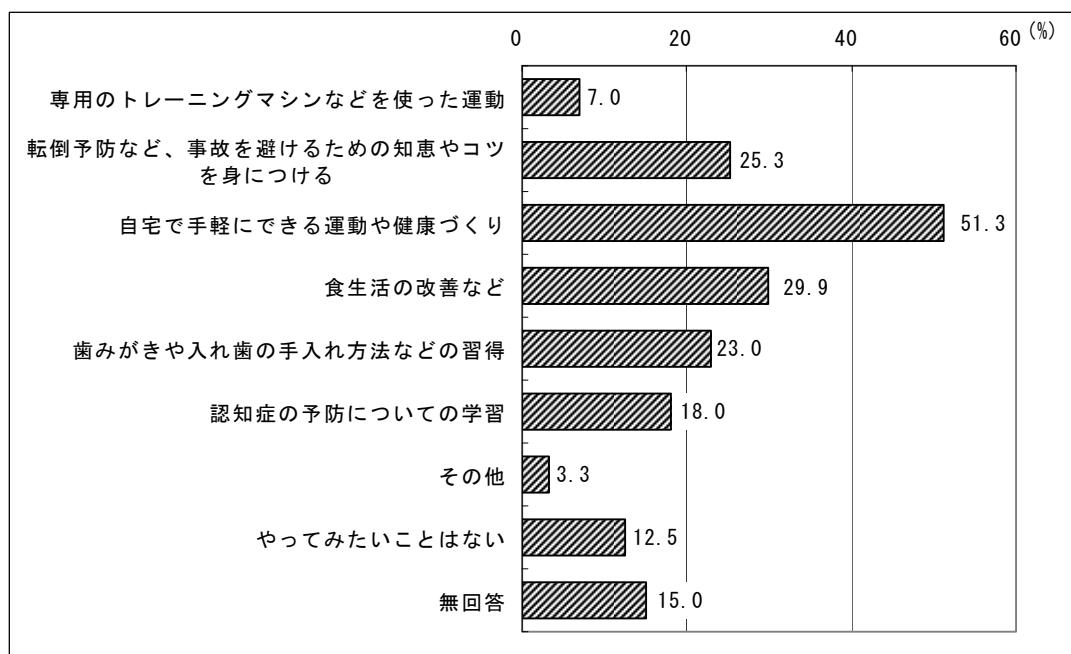
図表 194 認知症について何かしていること [N=3, 259 ; 複数回答]



(4) 要介護にならないための取組みをやってみたいか

要介護にならないための取組みをやってみたいかきいたところ、「自宅で手軽にできる運動や健康づくり」の割合が51.3%と最も高く、次いで、「食生活の改善など」が29.9%となっています。一方、「やってみたいことはない」は12.5%となっています。

図表 195 要介護にならないための取組みをやってみたいか [N=3, 259 ; 複数回答]

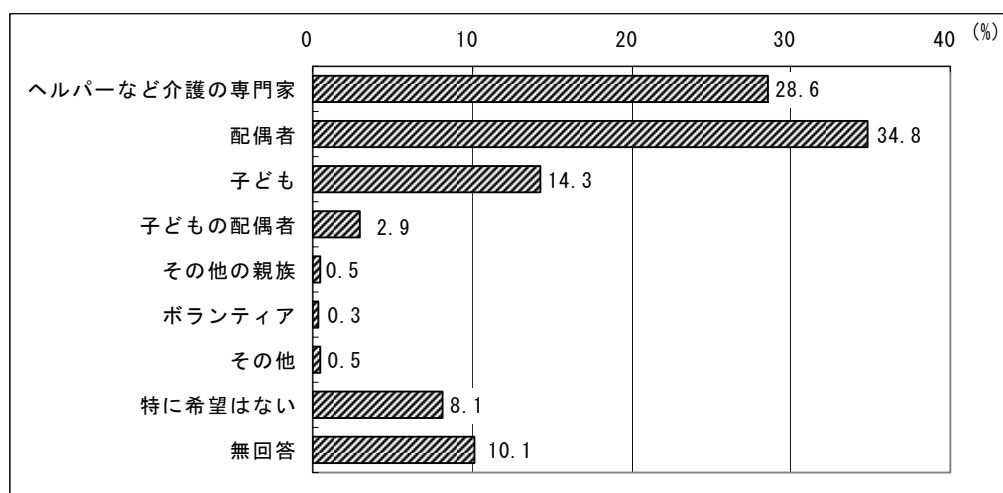


(5) 自宅において介護される場合に希望する介護者

自宅において介護される場合に希望する介護者についてきいたところ、「配偶者」の割合が34.8%と最も高く、次いで、「ヘルパーなど介護の専門家」が28.6%となっています。

年代・性別にみると、男性は年代に関係なく「配偶者」を希望する人の割合が高くなっています。一方、女性は65～74歳では「ヘルパーなど介護の専門家」を希望する人の割合が高くなっています。また、75歳以上では「ヘルパーなど介護の専門家」と「子ども」を希望する人の割合がほぼ同割合となっています。

図表 196 自宅において介護される場合に希望する介護者 [N=3, 259]



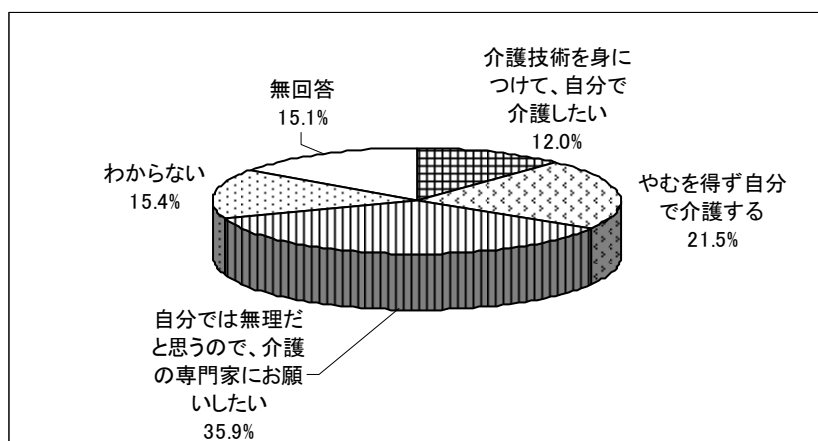
図表 197 <年代・性別>自宅において介護される場合に希望する介護者[N=3, 259]

	合計	ヘルパーなど介護の専門家	配偶者	子ども	子どもの配偶者	その他の親族	ボランティア	その他	特に希望はない	無回答
合計	3,259	931	1,133	467	94	16	11	16	263	328
	100.0	28.6	34.8	14.3	2.9	0.5	0.3	0.5	8.1	10.1
65～74 歳男	794	144	473	31	2	2	1	1	85	55
	100.0	18.1	59.6	3.9	0.3	0.3	0.1	0.1	10.7	6.9
65～74 歳女	861	374	175	140	18	1	5	6	63	79
	100.0	43.4	20.3	16.3	2.1	0.1	0.6	0.7	7.3	9.2
75 歳以上男	810	186	369	87	22	3	3	2	50	88
	100.0	23.0	45.6	10.7	2.7	0.4	0.4	0.2	6.2	10.9
75 歳以上女	702	199	88	197	51	9	2	5	57	94
	100.0	28.3	12.5	28.1	7.3	1.3	0.3	0.7	8.1	13.4
無回答	92	28	28	12	1	1	0	2	8	12
	100.0	30.4	30.4	13.0	1.1	1.1	0.0	2.2	8.7	13.0

(6) 配偶者や親など親族を介護することについて

配偶者や親など親族を介護することについてきいたところ、「自分では無理だと思うので、介護の専門家をお願いしたい」の割合が 35.9%と最も高く、次いで、「やむを得ず自分で介護する」が 21.5%となっています。

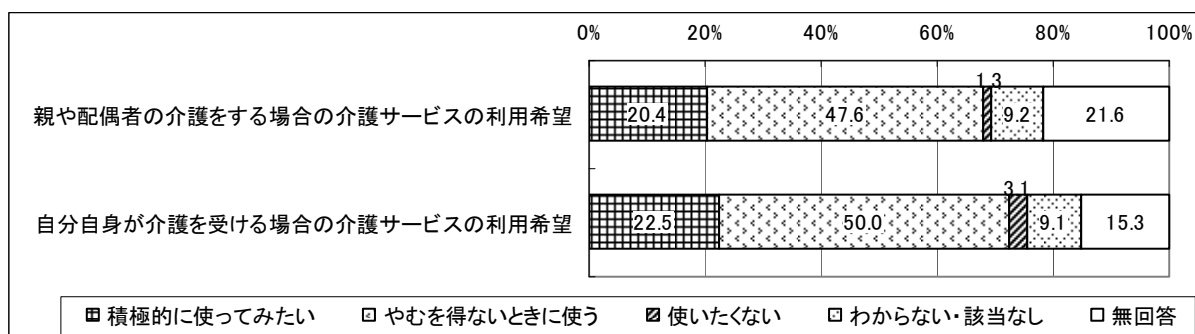
図表 198 配偶者や親など親族を介護することについて[N=3, 259]



(7) 介護をする場合や受ける場合の介護サービスの利用希望

親や配偶者の介護をする場合、自分自身が介護を受ける場合の介護サービスの利用希望については、「やむを得ないときに使う」の割合がそれぞれ 47.6%、50.0%と最も高く、次いで、「積極的に使ってみたい」が 20.4%、22.5%となっています。

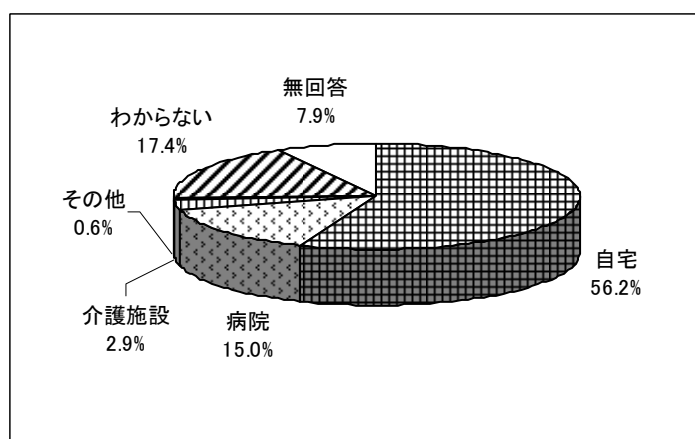
図表 199 介護をする場合や受ける場合の介護サービスの利用希望 [N=3, 259]



(8) 最期を迎えたい場所

どこで最期を迎えたいと思うかきいたところ、「自宅」の割合が 56.2%と最も高く、次いで、「病院」が 15.0%となっています。

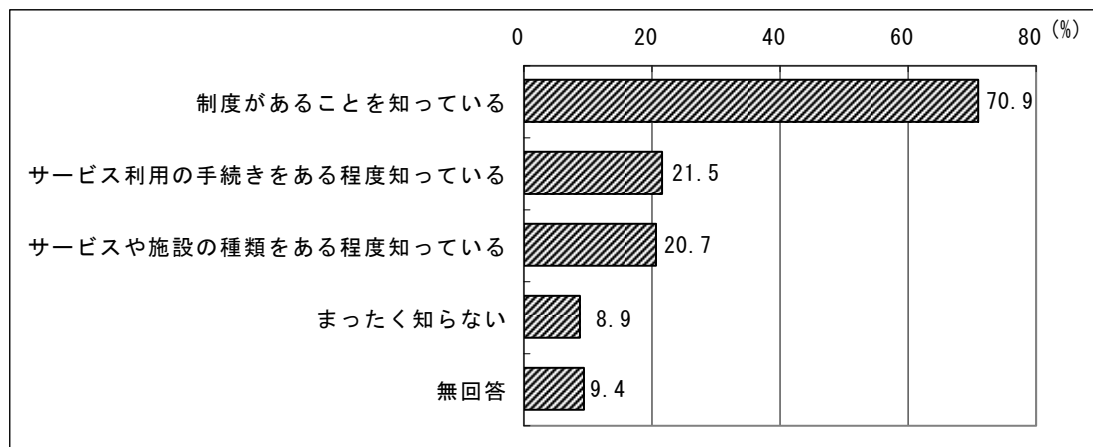
図表 200 最期を迎えたい場所 [N=3, 259]



(9) 介護保険制度についての認知度

介護保険制度についての認知度についてきいたところ、「制度があることを知っている」が70.9%と最も高く、次いで、「サービス利用の手続きをある程度知っている」が21.5%となっています。一方、「まったく知らない」は8.9%となっています。

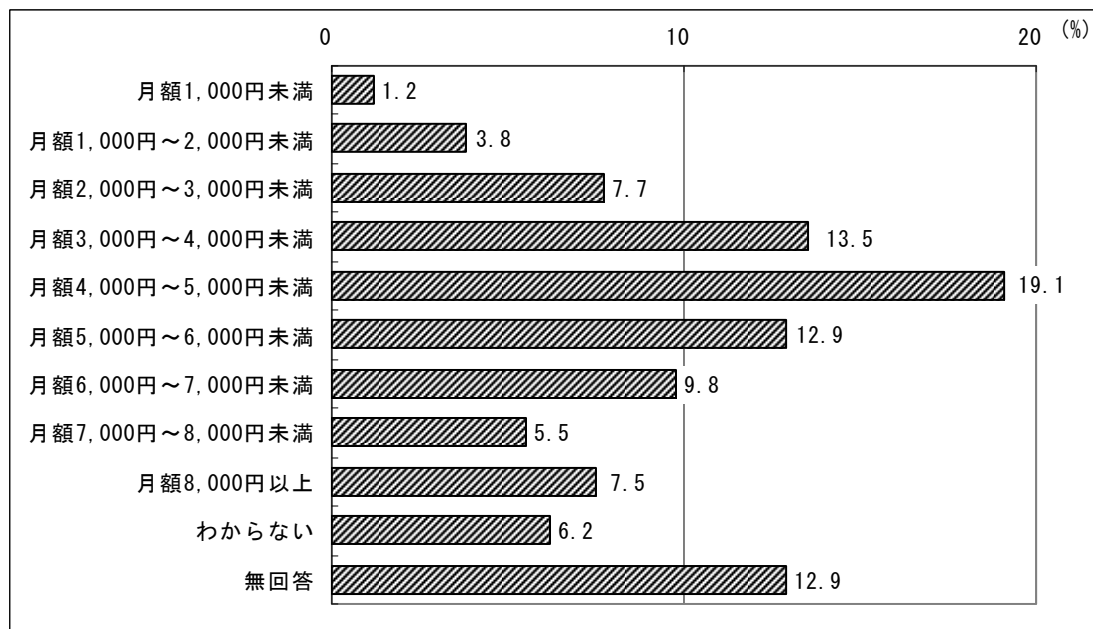
図表 201 介護保険制度についての認知度 [N=3, 259 ; 複数回答]



(10) 現在支払っている介護保険料

現在支払っている介護保険料についてきいたところ、「月額 4,000 円～5,000 円未満」の割合が19.1%と最も高く、次いで、「月額 3,000 円～4,000 円未満」が13.5%となっています。

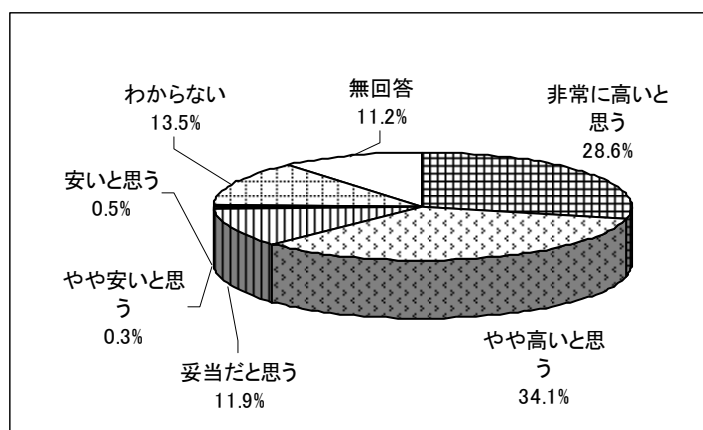
図表 202 現在支払っている介護保険料 [N=3, 259]



(11) 支払っている介護保険料の金額について

支払っている介護保険料の金額についてきいたところ、「非常に高いと思う」が28.6%、「やや高いと思う」が34.1%と、高いと感じている人が約63%、「妥当だと思う」が11.9%となっています。

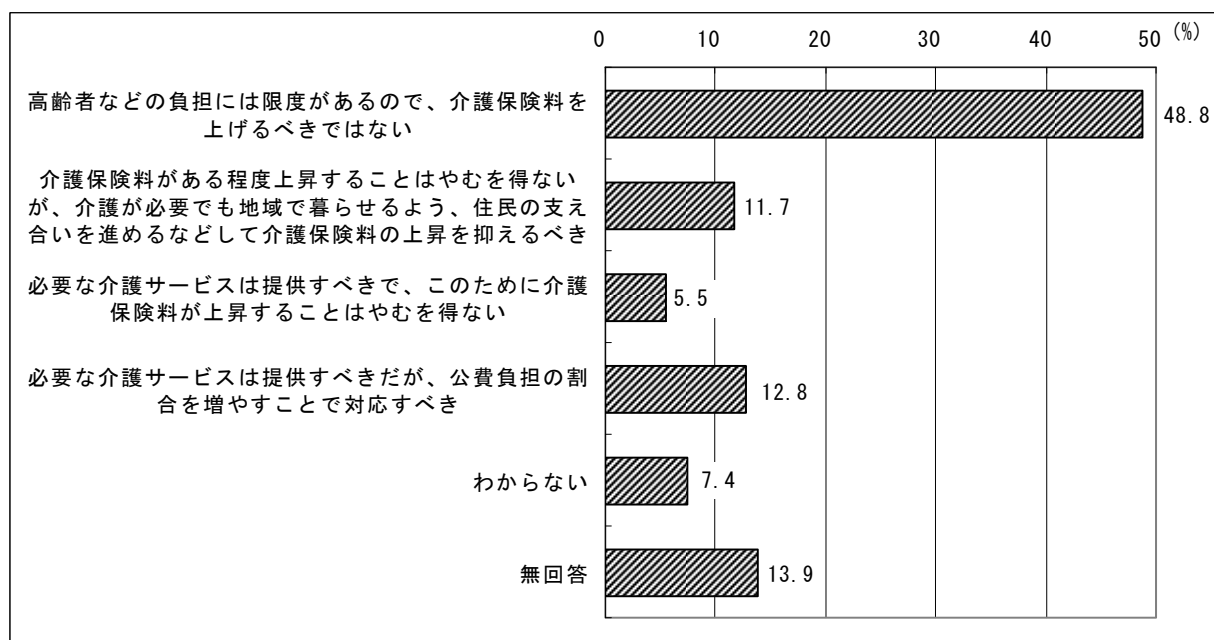
図表 203 支払っている介護保険料の金額について [N=3, 259]



(12) 介護保険の今後の費用負担のあり方について

介護保険の今後の費用負担のあり方についてきいたところ、「高齢者などの負担には限度があるので、介護保険料を上げるべきではない」の割合が48.8%と最も高く、次いで、「必要な介護サービスは提供すべきだが、公費負担の割合を増やすことで対応すべき」が12.8%となっています。

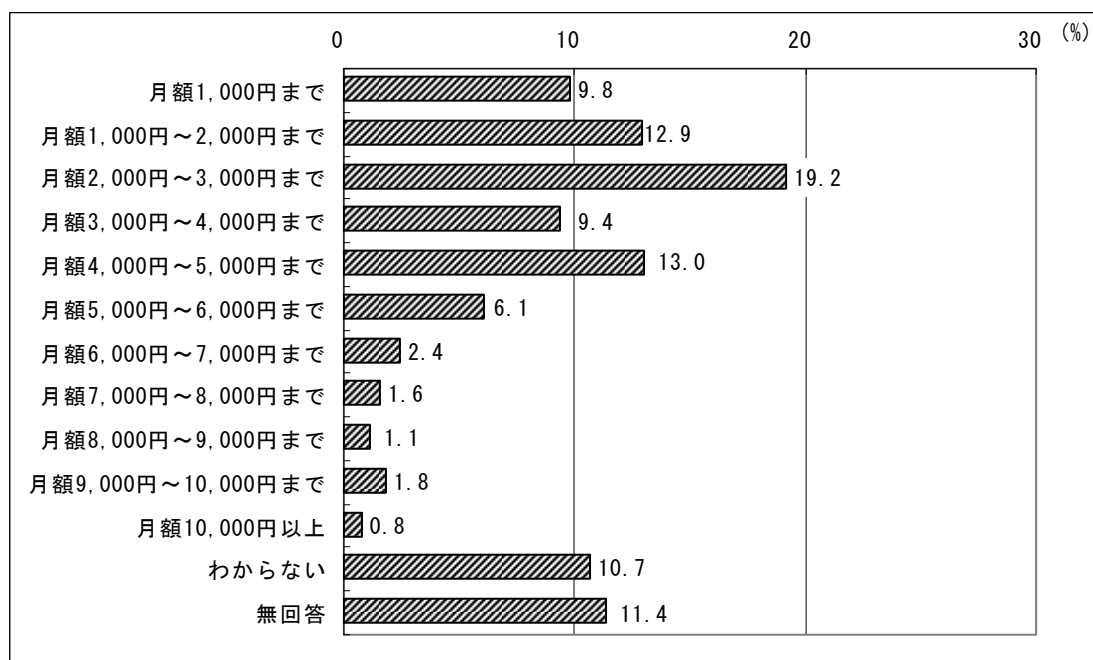
図表 204 介護保険の今後の費用負担のあり方について [N=3, 259]



(13) 介護保険料の負担限度について

介護保険料の負担限度についてきいたところ、「月額 2,000 円～3,000 円まで」の割合が 19.2%と最も高く、次いで、「月額 4,000 円～5,000 円まで」が 13.0%となっています。

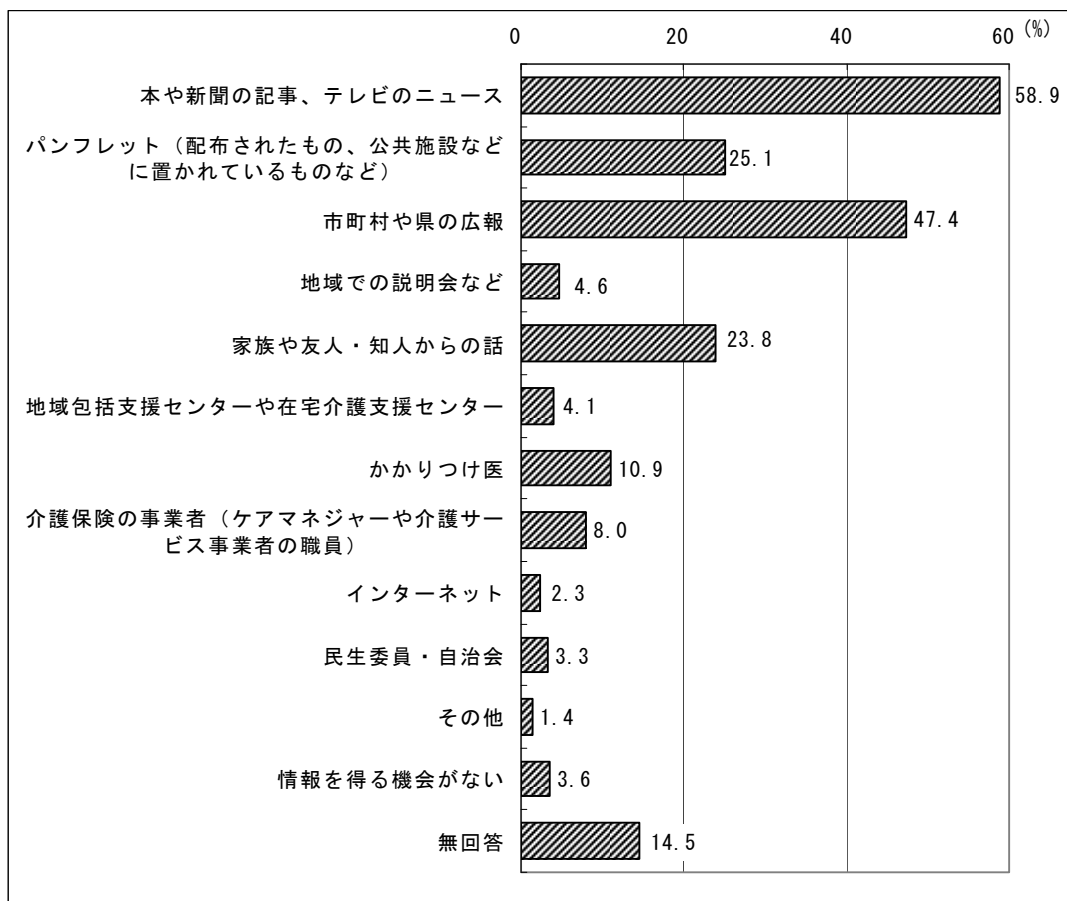
図表 205 介護保険料の負担限度について [N=3, 259]



(14) 介護や保健、医療等に関する情報の入手方法

介護や保健、医療等に関する情報の入手方法についてきいたところ、「本や新聞の記事、テレビのニュース」の割合が 58.9%と最も高く、次いで、「市町村や県の広報」が 47.4%となっています。

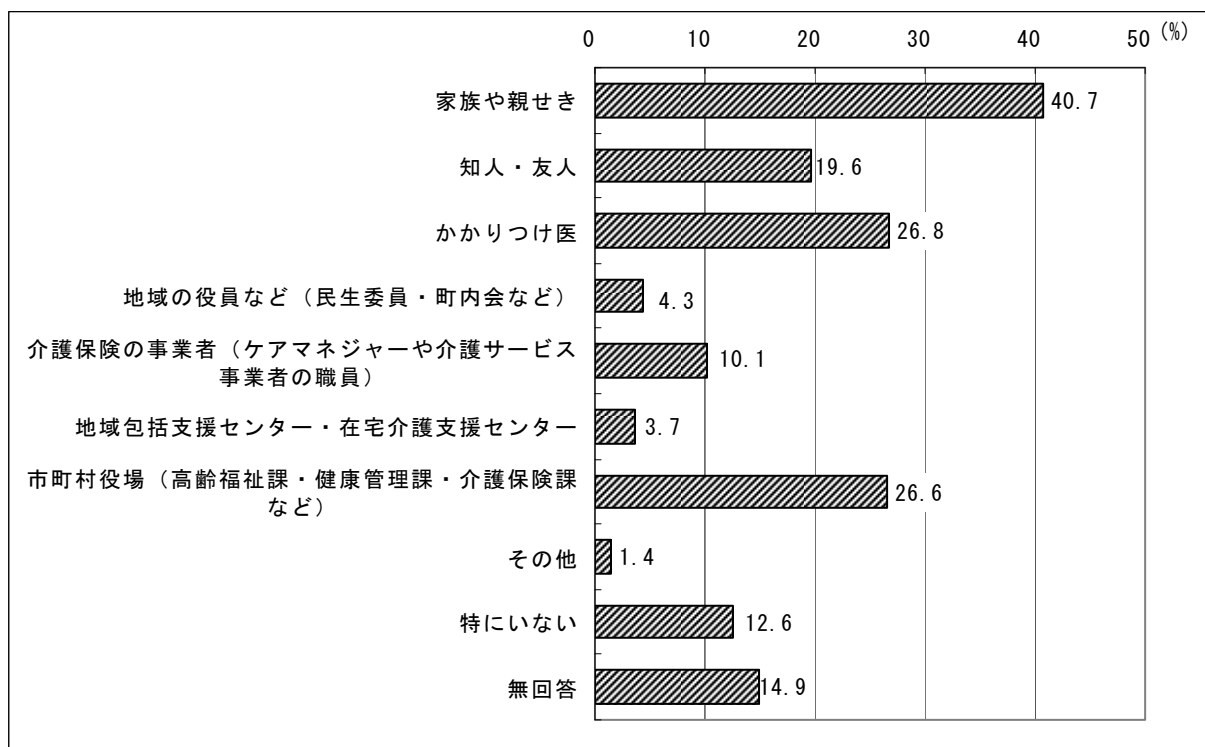
図表 206 介護や保健、医療等に関する情報の入手方法 [N=3,259 ; 複数回答]



(15) 介護や保健、医療等に関することでの相談相手

介護や保健、医療等に関することでの相談相手についてきいたところ、「家族や親せき」の割合が40.7%と最も高く、次いで、「かかりつけ医」が26.8%となっています。一方、「特にいない」は12.6%います。

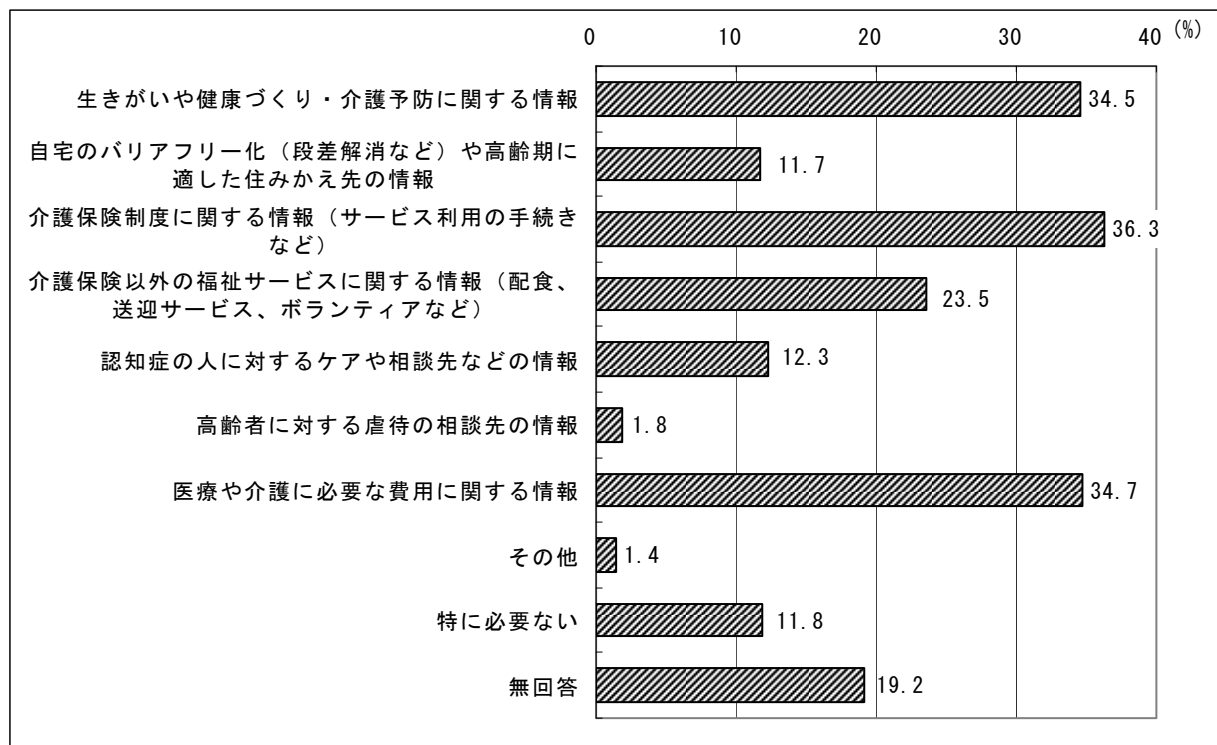
図表 207 介護や保健、医療等に関することでの相談相手 [N=3, 259 ; 複数回答]



(16) 介護や保健、医療等に関することでほしい情報

介護や保健、医療等に関することでほしい情報についてきいたところ、「介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）」の割合が36.3%と最も高く、次いで、「医療や介護に必要な費用に関する情報」が34.7%、「生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報」が34.5%となっています。一方、「特に必要ない」とする人は11.8%となっています。

図表 208 介護や保健、医療等に関することでほしい情報[N=3,259；複数回答]



(17) 行政が重点的に取り組むべきことについて

行政が重点的に取り組むべきことについてきいたところ、「身近で受けることができる福祉や介護サービスを充実する」(42.2%)、「わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整える」(42.1%)をあげる人の割合が高くなっています。

図表 209 行政が重点的に取り組むべきことについて [N=3, 259 ; 複数回答]

